令和 4 年度 (2022) 一戸町文化財 年 報

岩手県二戸郡一戸町 一戸町教育委員会

目 次

Ι	世界	界遺産関係事業実施状況	
	1	基本方針·····	· 1
	2	施策の重点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 1
	3	事業実施状況	· 1
	4	御所野遺跡の保存管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 6
П	文化	比財関係事業実施状況	
	1	基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 7
	2	施策の重点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 7
	3	事業実施状況	. 7
	4	貸出資料一覧	·11
Ш	御戸	听野縄文博物館運営状況	
	1	施設概要	
	2	来場者利用状況	
	3	教育普及活動	
	4	調査研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	.22
	5	ボランティア活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	.22
IV		补舘家住宅活用状况	
	1	概要	
	2	朴舘家住宅保存会活動状況	
	3	見学ノート記帳者数	
	4	見学者からのメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·28
V	姉	带城跡活用状況	
	1	概要	
		見学ノート記帳者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	3	見学者からのメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	.33
VI	— <u>ī</u>	三町地域伝統技術交流館利用状況	
	1	施設概要	
	2	利用者数	•34
資料	斗編		
	1	令和 4 年度調査成果発表会資料	
		一戸町の指定文化財等一覧	
		一戸町文化財調査報告書一覧	
	4	組織と職員体制	.51

I 世界遺産関係事業実施状況

1 基本方針

世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産である御所野遺跡の文化的価値を知り、登録の意義を町全体で共有していくために、遺跡を次代に繋ぐ人材の確保と育成を行うとともに、町民の保存・活用意識の高揚に繋がる活動をおこなう。そして、他の構成資産、県内世界遺産あるいは県北広域振興圏とのネットワークを構築し世界遺産を通じた新たな交流を創出する。

2 施策の重点

- (1) 世界遺産を活用した取組
 - ① 「北海道・北東北の縄文遺跡群」構成資産との連携
 - ② 普及啓発活動の実施
 - ③ 御所野遺跡の学術調査・フィールドワーク
- (2) 未来に伝えていくための取組
 - ① 多様な担い手による保存管理体制づくり
 - ② ICT技術を活用した遺跡のガイド
 - ③ バッファゾーンにおける景観形成
- (3) 新たな交流の創出
 - ① 他の構成資産や近隣市町村との連携事業の推進
 - ② SNSの活用
- (4) 御所野縄文公園の活用

3 事業実施状況

(1) 世界遺産を活用した取組

事 業 名	実 施 内 容	参加人数等
1. 縄文遺跡群世界遺産本部(4道県)	○期日 年1回 ○内容 北海道・北東北4道県知事と教育長、構成資産を持つ 14市町の首長、教育長で構成	
2. 縄文遺跡群世界遺産 保存活用協議会 (4道県)	○期日 ①9月2日 第1回 オンライン開催 ②2月14日 第2回 オンライン開催 ○内容 縄文遺跡群の構成資産及び緩衝地帯の保存管理を行う ための協議会	①職員1名 ②職員1名
3. 縄文遺跡群世界遺産 保存活用専門家委員会 (4道県)	○期日 ①10月18日 青森市 ②3月10日 函館市 ○内容 構成資産の保存活用に関する専門的事項について調査 研究をするための委員会	①職員1名 ②職員1名
4. 岩手県世界遺産保存活用推進協議会	○期日 ①6月10日 盛岡市 ②3月27日 盛岡市 ○内容 「平泉文化遺産」及び岩手県内の縄文遺跡群(御所野遺跡)の保存活用推進のため協議	①町長 ②町長、職員1名

事 業 名		実 施 内 容	参加人数等
5. 岩手県3つの世界遺 産連携会議	○期日	①7月8日 盛岡市 ②2月16日 盛岡市 岩手県内3つの世界遺産について、県内外に向けた一 体的な取組に関する協議を行った	①職員2名 ②職員1名
6.4道県国内フォーラム	○期日	①10月2日 岩手県フォーラム (盛岡市) ②1月29日 東京フォーラム 縄文遺跡群の学術的価値の浸透を図るフォーラム	①50名 ②600名 オンライン1,000名
7.4 道県共通ロゴマーク活用事業(4 道県)	○期日	年間 共通ロゴマークを活用したPRグッズなどの活用	年間
8.4道県共通ホームページの活用事業(4道県)	○期日	年間 縄文遺跡群を国内外へ発信するための共通ホームペー ジの活用	年間
9. 世界遺産PRキャラ クターの活用	○期日	年間 ごしょどん、ごしょたんのデザイン及び着ぐるみの使 用によるPR	デザイン使用許可 17件 着ぐるみ貸出 25件
	○期日○内容	7月27日 御所野縄文博物館 世界遺産登録1周年記念日イベントを実施。入館無料、 来園者記念品プレゼント、館長講話、のぼり設置、岩 手日報広告、チラシ配布。	館長講話30名
10. 登録 1 周年記念事業	○期日 ○内容	7~11月 町内各団体・事業者と連携し、各イベントを「登録1 周年記念」として実施した。	
	○期日	10月15日~11月27日 御所野縄文博物館 世界遺産登録1周年・御所野縄文博物館20周年記念企 画展「自然とともに生きる縄文人」展の開催	延べ2,592名
11. 縄文時代の植生など 実験・研究	○期日	① 5月26日~27日 ② 6月26日~27日 ③ 8月23日~24日 ④10月26日~27日 ⑤11月25日~26日 共同調査 縄文時代の植物利用などについて、金沢大学などとの 共同研究	
12. 調査成果発表会	○期日	2月25日 御所野縄文博物館 御所野遺跡や町内の文化財の調査研究についての成果 発表	70名

(2) 未来へ伝えていくための取組

事 業 名		実 施 内 容	参加人数等
1. 御所野遺跡保存整備事業	○期日○内容	年間 ①縄文時代の植生復元整備(縄文里山づくり事業) ②史跡整備(園路舗装修理工事 8/1~10/7)	
2. 御所野遺跡整備指導	○期日	名誉教授 ②3月8日 前川歩畿央大学講師	
3. ボランティア活動支援(指定管理者)		①11月23日 大湯環状列石・伊勢堂岱遺跡のボランティア団体との交流会 御所野縄文博物館 ②12月11日 北海道内構成資産ガイド団体との情報交換会 北海道洞爺湖町 公園に関わるボランティア団体の活動を支援	①5名 ②4名
4. クリーンデー (指定管理者)	○期日○内容	①4月23日 ②11月12日 ボランティア団体や町内各団体、住民等による御所野 縄文公園の清掃活動	①181名 ②180名
5. ガイド養成講座 (指定管理者)	○期日○内容	3月25日 御所野遺跡のガイドを行うための必要な知識やノウハウを講義する。	10名
6. 景観形成支援事業	○期日○内容	年間 一戸町景観計画特定景観区域内における建造物の屋根 等の塗り替えに対する補助	交付1件

(3) 新たな交流の創出

事 業 名	実 施 内 容	参加人数等
	○期日 7月27日~11月30日○内容 縄文周遊発掘スタンプラリー	752名
	○期日 10月1日~10月31日 御所野縄文博物館 ○内容 大湯環状列石・伊勢堂岱遺跡のパネル展示	
1. 広域連携事業	○期日 7月8日 ○内容 岩手県3つの世界遺産連携会議	職員1名
1. 丛域连伤事未	○期日 11月26日 オンライン ○内容 北海道・北東北世界遺産子どもサミット	児童3名
	○期日 12月14日 平泉町 ○内容 岩手県3つの世界遺産ガイド交流会	ガイド4名
	○期日 2月2日 オンライン ○内容 岩手県3つの世界遺産児童交流会	児童15名

事 業 名	実 施 内 容	参加人数等
	○期日 年間 ○内容 パンフレットやポスター作成及び各種広報媒体への広告掲載	随時
2. 広報宣伝活動	○期日 ①7月9日 上野駅「いわて産直市」②11月3日 横浜市「関内フード&ハイカラフェスタ」③11月5・6日 平泉町「いわて世界遺産まつり」○内容 各イベントでのPR活動	①職員1名 ②職員1名 ③職員1名
3. 修学旅行の誘致活動	○期日 年間○内容 修学旅行誘致のため、旅行会社等への働きかけ	
4. SNS情報発信 (指定管理者)	○期日 年間○内容 HP、SNS(Twitter、instagram等)を活用し、情報をリアルタイムに発信	随時

(4) 御所野縄文公園の活用

事 業 名	実 施 内 容	参加人数等
1. てづくりプログラム (指定管理者)	○期日 年間 ○内容 組みひも、お守り、土器、土笛、アクセサリー作り等 の縄文体験	890名
2. まるっと里山プログラム (指定管理者)	期日・内容 ①5月15日、7月17日「カゴをつくろう」 ②6月26日、8月28日、9月4日「縄文の縄をつくろう」 ③7月3日、7月10日「縄文の布をつくろう~アカソ編~」 ④8月7日「縄文の布をつくろう~カラムシ編~」	①17名 ②23名 ③3名 ④9名
 ごしょのdeまなび プログラム (指定管理者) 	 ○期日・内容 ①5月15日「縄文土器で煮炊き体験」 ②6月12日~13日「ぬいぐるみお泊まり会in御所野縄文博物館」 ③10月15日「縄文の星空観察会」 ④11月5日「ドキドキ考古学者体験」 ⑤12月18日「正月飾りをつくろう」 ⑥1月8日「一戸町の絵馬を描いてみよう」 ⑦2月4日「冬の縄文公園を歩こう」 	①中止 ②5名 ③4名 ④4名 ⑤13名 ⑥2名 ⑦-

事 業 名	実 施 内 容	参加人数等
4. 御所野縄文WEEK (共)	 ○期間 10月15日~10月23日 御所野縄文公園ほか ○内容 御所野遺跡や縄文文化の魅力を発信するため、二戸地域振興センター等と連携し9日間イベントを行った。 ①10月15日 登録1周年企画展「自然とともに生きる縄文人」(~11月27日) ②10月15日 岩手日報報道展(~10月23日) ③10月15日 IBCラジオ「縄文ウォーク」公開生放送④10月15日 星空観察会「縄文の星空を体験しよう」⑤10月15日 ごしょの推し活(~10月23日) ⑥10月16日 御所野縄文博物館で記者体験! ⑦10月16日 映画「ひまわり」上映会⑧10月21日 縄文給食の日⑩10月22日 縄文ヨガ⑪10月22日 縄文ヨガ⑪10月23日 ハッピーウォーク2022 ⑩10月23日 ハッピーウォーク2022 ⑪10月23日 企画展記念講演会 	①727名 ②1,730名 ③90名 ④4名 ⑤13名 ⑥9名 ⑦60名 ⑧300名 ⑨803名 ⑩7名 ⑪7名 ⑪7名 ①70名 ②8名
5.御所野縄文キャンプ スクール(共)	○期間 9月23日~24日 御所野縄文公園ほか○内容 縄文ムラの宿泊体験や縄文食体験など、縄文人の暮らしを体験するプログラム	15名
6. 縄文レストラン(共)	○期間 10月30日 御所野縄文公園 ○内容 「縄文文化と発酵文化」をテーマにしたイベント。地 元の食材や工芸品を活用した料理を提供。	30名





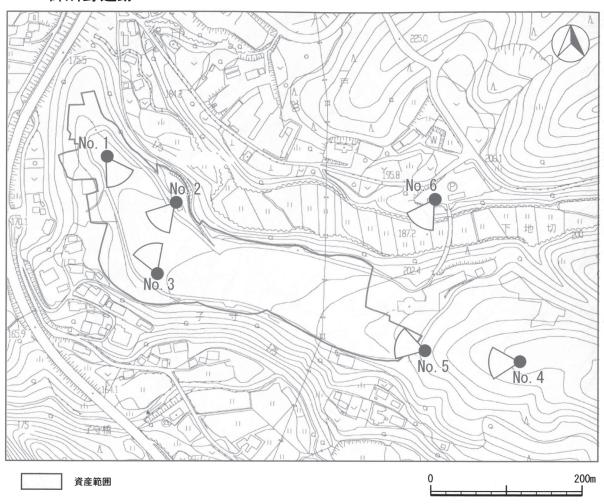


縄文レストラン

4 御所野遺跡の保存管理

「北海道・北東北の縄文遺跡群包括的保存管理計画」に基づく経過観察を実施した。構成資産の内外に 視点場を6ヶ所設定し、遺構や構成資産範囲における植生の状況について観察したほか、視点場からみた 眺望の定点観測により、構成資産周辺の開発行為等の動向などを確認した。

008 御所野遺跡



視点場位置図



視点場No.2からの眺望



視点場No.5からの眺望

Ⅱ 文化財関係事業実施状況

1 基本方針

地域に受け継がれてきた歴史や文化を将来に繋げていくため、文化財の保護と普及啓発に努めるととも に、地域資源として活用することで町民の郷土に対する愛着心の向上をはかる。

2 施策の重点

- (1) 文化財の調査・保護
 - ① 指定文化財の適正な保護に努めるとともに、未指定文化財の調査を進める。
 - ② 無形民俗文化財の伝承活動を支援する。
- (2) 重要文化財旧朴舘家住宅の保存修理とまちづくり
 - ① 旧朴舘家住宅の保存修理を行う。
 - ② 地域住民と連携し、修理後の活用策の検討を行う。
- (3) 文化財愛護の機運向上
 - ① 歴史文化に触れる機会設ける。
 - ② 地域の文化財保護活動を支援する。

3 事業実施状況

(1) 文化財の調査・保護

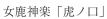
事 業 名	実 施 内 容	参加人数等
1. 文化財指定候補物件 の調査	○内容 町内に所在する文化財のうち優れたものについて調査 を行い、必要に応じて指定し、保護を図る。 ①毘沙門堂遺跡の塚状遺構の測量調査	①5月20日~12月 20日
2. 町内遺跡発掘調査事業	○内容 町内遺跡の開発に伴う発掘調査	試掘調査 13件 工事立会 8件
3. 指定文化財等の保護	○内容 指定文化財の維持管理 ①町内文化財パトロール	①随時
4. 文化財調査専門委員会	○期日・場所 開催なし ○内容 町文化財指定に係る諮問および文化財の調査、保護、 活用について協議	_
5. 二戸地区文化財調査 委員等連絡協議会(共)	○期日・場所 ①6月14日 理事会 二戸地区合同庁舎 ②6月29日 総会・研修会 三戸城跡 ○内容 二戸管内の文化財調査委員の情報交換と専門的な知識・技術の取得・向上を図る	①理事2名 職員1名 ②理事2名 職員2名
6. 神楽公開	○期日 6月 中止 (代替事業)いちのへの神楽○期日・場所 6月19日 奥中山高原温泉にぎわい市特設会場○出演 女鹿神楽、小友神楽	115名

事 業 名	実 施 内 容	参加人数等
7. 権現様パレード	○期日 8月27日○内容 各芸能団体の所有する権現様を一堂に会し、一戸まつり中日の神輿渡御に参加	参加43名
8. 第44回一戸町郷土芸能祭	○期日・場所 11月13日 コミュニティセンター ○内容 郷土芸能を継承するため発表の機会を設け、地域住民 に理解を深めてもらうとともに、伝承者の技術向上を 図る	130名 招待芸能:山屋田 植踊り保存会
9. 一戸町郷土芸能保存協議会への活動支援	○期日 ①5月28日、8月21日、10月20日 役員会②総会 中止○内容 郷土芸能団体の交流・親睦を図り、各種事業を実施し、郷土芸能の活性化と後継者育成に努める	①各職員1名
10. 無形民俗文化財保存事業	○内容 各地域に伝わる無形民俗文化財を後世に継承するため、各団体に補助金を交付	交付決定7団体

付. 第44回一戸町郷土芸能祭

No	演目	郷 土 芸 能	出 演 団 体
1	権現舞	高屋敷神楽	高屋敷神楽保存会
2	鳥舞	田中新山社神楽	田中新山社神楽保存会
3	三番叟	小友神楽	小友神楽保存会
4	小鳥谷七ツ踊り	小鳥谷七ツ踊り	小鳥谷七ツ踊り保存会
5	虎ノ口	女鹿神楽	女鹿神楽保存会
6	盆舞	小友神楽	小友神楽保存会
7	虎ノ口	田中新山社神楽	田中新山社神楽保存会
8	山屋田植踊	山屋田植踊	山屋田植踊保存会 (招待芸能)
9	若子舞	女鹿神楽	女鹿神楽保存会
10	機織り女郎	高屋敷神楽	高屋敷神楽保存会
11	根反鹿踊り	根反鹿踊り	根反鹿踊り保存会







小友神楽「三番叟」

付. 開発に伴う遺跡有無確認調査一覧

No	調査実施日	開 発 事 由	場所	内 容
1	4月4日	净化槽	一戸町一戸	工事立会
2	4月18日	個人住宅	一戸町一戸	試掘調査
3	4月20日	個人住宅	一戸町鳥越	工事立会
4	4月26日	太陽光パネル	一戸町鳥越	試掘調査
5	5月9日	個人住宅	一戸町高善寺	工事立会
6	5月10日~20日	ブロイラー農場	一戸町奥中山	試掘調査
7	5月16日	鉄塔	一戸町姉帯	工事立会
8	5月19日	個人住宅	一戸町高善寺	試掘調査
9	6月13日	個人住宅	一戸町高善寺	試掘調査
10	6月15日	個人住宅	一戸町中山	試掘調査
11	7月4日~11日	作業倉庫	一戸町一戸	試掘調査
12	8月2日	個人住宅	一戸町高善寺	試掘調査
13	8月2日	個人住宅	一戸町一戸	試掘調査
14	8月19日	個人住宅	一戸町一戸	工事立会
15	8月22日	携带電話無線基地局	一戸町一戸	工事立会
16	8月24日	携带電話基地局	一戸町一戸	試掘調査
17	8月30日	個人住宅	一戸町中山	試掘調査
18	9月2日	個人住宅	一戸町鳥越	試掘調査
19	10月18日	携帯電話基地局	一戸町平糠	工事立会
20	12月27日	携带電話基地局	一戸町楢山	工事立会
21	2月6日	個人住宅	一戸町楢山	試掘調査

(2) 重要文化財旧朴舘家住宅の保存修理とまちづくり

事 業 名	実 施 内 容	参加人数等
	○日時 ①8月17日 第1回委員会	①委員8名
1. 旧朴舘家住宅保存修	②11月24日 第2回委員会	オブザーバー1名
理委員会	○内容 文化財建造物の専門家等で組織し、旧朴舘家住宅保存	②委員7名
	修理に係る方針等に関して意見を求める。	オブザーバー2名
2. 旧朴舘家住宅保存修	○期日·場所 ①11月2日 小鳥谷小見学	①6年10名
理事業	②11月12日 綾織茅場視察(遠野市)	②委員4名
3. 朴舘家住宅保存会へ の活動支援	○日時 6月11日 総会 6~3月 火燃やし ○内容 住宅の保存活動を行う団体の活動を支援する	会員11名

(3) 文化財愛護の機運向上

事 業 名	実 施 内 容	参加人数等
1. 文化財普及活動	○内容 さまざまな広報手段を活用し文化財を周知する ①広報いちのへ掲載 ②ホームページ更新	①計12回 ②随時

事 業 名	実 施 内 容	参加人数等
2. 地域住民との連携	 ○内容 地域住民やボランティア団体と連携し、文化財の保護活動を行う。 ①国指定史跡 奥州街道 ②国指定特別天然記念物 根反の大珪化木 ③国指定天然記念物 藤島のフジ ④国指定重要文化財 旧朴舘家住宅 ⑤県指定有形文化財 西方寺毘沙門堂 ⑥町指定史跡 姉帯城跡 	① 1 1 1 1 2 2 2 3 2 3 4 2 5 6 6 6 9 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2
3. 奥州街道ウォーク等への協力	○期日 ①8月10日 二戸土木センター主催 ○内容 各団体の実施する奥州街道ウォーク等への協力など	①中止
4. いちのへ魅力再発見 ツアーへの協力	○期日 ①11月5日 ②11月7日 ③11月9日 ④11月22日○内容 各地区センターが実施する町内文化財の内容や魅力を知るツアーの案内などの協力	①一戸地区16名 (親子7組) ②奥中山地区17名 ③鳥海地区20名 ④小鳥谷地区14名

いちのへ魅力再発見ツアー



一戸地区 笹巻きづくり体験



奥中山地区 奥州街道を巡る



鳥海地区 宮田宝篋印塔見学



小鳥谷地区 旧朴舘家住宅見学

(4) 文化財行政推進体制

事 業 名	実 施 内 容	参加人数等
1. 二戸地区文化財担当者会議(共)	○期日・場所 11月22日 軽米町歴史民俗資料館 ○内容 文化財行政の具体的推進について協議し、事業の効果 的推進を図る	職員2名
2. 岩手県史跡整備市町村協議会	○期日・場所 ①7月7日 総会 平泉②11月29日~30日 研修会 二戸市○内容 史跡整備の研究と行政的課題について協議	①職員1名 ②職員2名
3. 全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会	○期日・場所 7月14日・15日 総会・研修会 酒田市 ○内容 史跡整備の研究と行政的課題について協議	欠席
4. 全国史跡整備市町村協議会	 ○期日・場所 ①10月5日 総会・講演会 平泉町 ②10月~7日 エクスカーション (県内4コース) ※10月6日 御所野遺跡見学 ③11月15日 臨時大会 ホテルニューオータニ ○内容 史跡整備の研究と行政的課題について協議 	①町長 職員1名 ②御所野遺跡視察対応 職員1名 ③職員1名

4 貸出資料一覧

(1) 写真資料

No	申 請 者 名	掲 載 先	資料名·点数	貸出期間
1	株式会社 文藝春秋	書籍『仰天・俳句・新』	蒔前遺跡 鼻曲り土面 1点	令和4年4月1日~
2	北海道立埋蔵文化財指定管理 者 公益財団法人北海道埋蔵文化 財センター	企画展示「世界遺産を目指す北の縄 文展」	御所野縄文公園 東ムラほか 4点	令和4年4月1日~ 令和5年5月31日
3	障害福祉サービス事業所 「ワークなかやま」	缶バッチ、マグネット販売	御所野縄文公園 東ムラほか 11点	令和4年4月25日~
4	岩手県立図書館	企画展「今こそ、縄文。」	蒔前遺跡 鼻曲り土面 ほか 3点	令和4年4月15日~ 令和5年3月31日
5	岩手県文化スポーツ部	世界遺産出前授業	御所野遺跡 現地説明 会風景ほか 2点	令和4年5月1日~ 令和5年3月31日
6	NHK盛岡放送局	NHK放送 「おばんですいわて」	藤島のフジ 1点	令和4年5月16日
7	個人	ウェブ企画「縄文ちっちゃいもの選 手権」	山井遺跡 土偶 1点	令和4年5月25日~ 令和6年12月31日
8	NHK盛岡放送局	NHK放送 「ウィークエンド東北」	根反の大珪化木ほか 5点	令和4年5月28日
9	一般社団法人日本補償コンサ ルタント協会東北支部	『東北支部報』 2022年No74の表紙	御所野縄文公園 西ムラ 1点	令和4年7月10日~
10	株式会社 アマゾンラテルナ	NHKBSプレミアム、NHKBS4K 「武田真治の縄文アドベンチャー」	円筒上層式土器ほか 2点	令和4年7月15日~ 令和5年8月7日

No	申 請 者 名	掲 載 先	資料名・点数	貸出期間
11	株式会社 MBS企画	BSフジ「日本遺産物語」	焼失竪穴建物跡ほか 3点	令和4年7月19日~ 令和4年8月14日
12	株式会社 小学館 学習まんが・百科編集室	『小学館版学習まんが日本の歴史』 第1巻	復元竪穴建物 1点	令和4年7月20日~ 令和4年11月30日
13	編集プロダクションMOVE	『るるぶ縄文』	オカリナキットほか 5点	令和4年7月31日~ 令和5年7月31日
14	株式会社 アマゾンラテルナ	NHKBSプレミアム「武田真治の縄 文アドベンチャー」	御所野遺跡 空撮ほか 2点	令和4年8月6日
15	柏書房株式会社	『土偶大辞典』(仮題)	山井遺跡 土偶ほか 2点	令和4年8月10日~ 令和5年1月16日
16	個人	YOUTUBE動画	穴子観音ほか 3点	令和4年8月19日~
17	株式会社 JR東日本びゅう ツーリズム&セールス	大人の休日倶楽部会員誌9月号	御所野縄文公園 配石 遺構ほか 3点	令和4年8月25日~ 令和5年8月24日
18	株式会社 帝国データバンク 盛岡支社	「帝国ニュース 岩手県版」 8月25日号	御所野縄文公園 復元 竪穴建物ほか 2点	令和4年8月25日
19	観光考古学会	機関誌『観光と考古学』第3号	御所野縄文公園 1点	令和4年8月25日~ 令和4年9月1日
20	東日本高速道路 株式会社 東北支社	雜誌『rakra』第113号	御所野縄文博物館館内ほか 3点	令和4年8月26日~
21	岩手県県北広域振興局	いわてグラフ9月号	御所野縄文公園 1点	令和4年8月26日~ 令和4年9月25日
22	縄文遺跡群世界遺産事務局	クリアファイル作成	御所野遺跡 西ムラほか 2点	-
23	一戸町総合保健福祉センター	「いきがい・助け合いサミット in 東京」のポスターセッション	御所野縄文公園 中央 ムラ・春 1点	令和4年9月1日~ 令和4年9月2日
24	山梨県立美術館	令和4年度企画展 「縄文一JOMON一展」	蒔前遺跡 鼻曲り土面 1点	令和4年9月10日~ 令和4年11月6日
25	豊田市文化振興財団 豊田市コンサートホール能楽堂	「能狂言が見たくなる講座〜呪術 と能〜」	蒔前遺跡 鼻曲り土面 1点	令和4年9月23日
26	株式会社 テレビ岩手	「岩手県内3つの世界遺産PR動画」	御所野縄文公園 空撮 ほか 8点	令和4年10月1日
27	株式会社 青森テレビ	TBSテレビ「世界遺産」	焼失竪穴建物跡ほか 2点	令和 4 年10月 2 日~ 令和 4 年10月 9 日
28	株式会社 平凡社	『土偶美術館』	山井遺跡出土資料ほか 6点	令和4年11月2日
29	個人	「岩手の文化財」令和5年3月発行	国指定文化財ほか26点	令和4年11月5日~ 令和5年3月20日
30	北の縄文道民会議	『縄文JOBON』VOL 6	椛ノ木遺跡 土偶ほか 2点	令和 4 年11月28日~ 令和 4 年12月26日
31	株式会社 アマナイメージズ	JR東日本キャンペーンサイト 「どこかに新幹線」	御所野縄文公園 1点	令和4年12月1日~
32	一般社団法人 全国農業改良 普及支援協会	月刊『技術と普及』令和5年1月号、 「農と地域の生態社会学(第28回)」	御所野縄文公園 空撮 1点	令和 4 年12月 5 日~ 令和 4 年12月15日
33	北秋田市教育委員会	伊勢堂岱縄文館内3D土偶鑑賞システム	蒔前遺跡 鼻曲り土面 1点	令和4年12月7日~
34	盛岡観光コンベンション協会	協会発行リーフレット『コンベン ション開催支援ガイド』	復元竪穴建物 1点	令和 4 年12月 9 日~ 令和 6 年12月 8 日

No	申 請 者 名	掲 載 先	資料名·点数	貸 出 期 間
35	株式会社 JR東日本びゅう ツーリズム&セールス	会報誌『旅マガジン』 1月号、WEBサイト「日本の旅、鉄道の旅」	御所野縄文公園 3点	令和 4 年12月20日
36	岩手県立博物館	令和4年度テーマ展「新収蔵・新指 定展I~平成30年度からの新コレク ション~」	御所野縄文公園 西ムラ ほか2点	令和4年12月20日~ 令和5年2月26日
37	個人	岩手大学生協学生委員会製作 「SOUL」	御所野縄文公園 東ムラ 1点	令和 4 年12月27日~
38	株式会社 YHB編集企画	帝国書院発行『地理・歴史・SDGs の視点でひも解く日本の世界遺産』		令和5年2月1日~
39	株式会社 ワールド航空サービス	ルド航空サー 「縄文を旅する 青森・岩手の旅」 ツアー販促用HP		令和5年2月20日~ 令和5年6月30日
40	一般社団法人 ハピネス共済 会	、ハピネス共済 会報誌		令和5年3月1日~
41	北海道環境生活部文化振興課 縄文世界遺産推進室	「北海道・北東北の縄文遺跡群」PR 用クリアファイル	御所野遺跡 縄文土器	令和5年3月3日~ 令和5年3月24日
42	個人	『ファロスの日本史』	蒔前遺跡 鼻曲り土面 1点	令和5年3月20日~ 令和5年5月31日
43	テレコムスタッフ 株式会社	NHK国際放送「NHK WORLD-JAPAN」の「Design×Stories」	御所野縄文公園 映像 1点	令和5年3月20日~ 令和5年5月31日

(2) 実物資料

No	申 請 者 名	掲 載 先	資料名· 点数	貸 出 期 間
1	三内丸山遺跡センター	世界遺産登録1周年企画展「北海道・ 北東北のJOMON」	馬場平2遺跡出土石棒 ほか 3点	令和4年7月1日~ 令和4年10月21日
2	一般社団法人 奥州市文化振 興財団 奥州市埋蔵文化財調 査センター	特別展「鎮守府胆沢城と辺境」	田中4遺跡出土石製丸 鞆 1点	令和4年9月9日~ 令和4年12月16日
3	八戸市埋蔵文化財センター是 川縄文館	秋季企画展「食と縄文人」	馬場平2遺跡出土スプーン形土製品ほか10点	令和 4 年 9 月27日~ 令和 4 年12月16日
4	岩手県立博物館	令和4年度テーマ展「新収蔵・新指 定展I~平成30年度からの新コレク ション~」	御所野遺跡出土土器片 ほか 25点	令和4年12月13日~ 令和5年3月17日
5	株式会社 NHKプロモーション	「DESIGN MUSEUM JAPAN」展	御所野遺跡出土磨製石 斧ほか 56点	令和4年11月7日~ 令和6年9月上旬
6	宮古市教育委員会	企画展「石器からひもとく道具の進 化」	山井遺跡出土岩板ほか 5点	令和5年1月14日~ 令和5年3月12日

Ⅲ 御所野縄文博物館運営状況

1 施設概要

(1) 施設の名称と位置

① 名称:御所野縄文博物館

② 住所:岩手県二戸郡一戸町岩舘字御所野2

③ 指定管理者:いちのへ文化・芸術NPO (令和3年度~令和5年度)

(2) 施設の概要

① 構造:鉄筋コンクリート造(一部プレキャストコンクリート造)

② 規模:建築面積 1,719.0㎡

延床面積 2,637.2㎡ (1階 1,476.00㎡、2階 992.88㎡、屋根裏 168.27㎡)

③ 建築設計:株式会社環境デザイン研究所

④ 建築工事:株式会社田中建設·株式会社一戸建設特別共同企業体

⑤ 展示設計:株式会社環境デザイン研究所

⑥ 展示施工:株式会社丹青社

(3) 主要施設・面積

埋蔵文化財センター

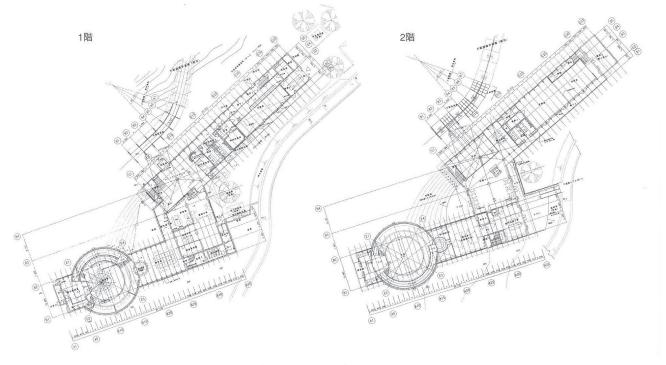
地域拠点整備事業

共有部分

機	能	面積(m)
収	蔵	251.10
調査・	研 究	158.60
管	理	75.00
学	習	273.40
その	他	547.25
共 有	部 分	196.00
合	計	1,501.35

機能	面積(m³)
体験学音	§ 68.30
展	京 685.80
その作	也 283.99
共 有 部 分	· 予 155.80
合 計	1,193.89

模) 自	5	面積 (m²)
機	械	室	15.10
そ	0)	他	336.70
台	i i	†	351.80



御所野縄文博物館 平面図

2 来場者利用状況

(1) 令和 4 年度来場者利用状況

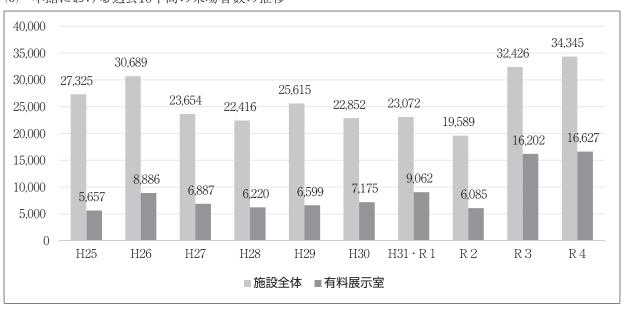
月	開館	_	般	大与	学生	高校生	小中	減 免	博物館	館内施設利用	公 園
万 	日数	個人	団体	個人	団体	同似生	学生	入館者	入館者計	(会議室等)	入場者計
4月	26	838	22	9	0	11	132	54	1,066	18	2,611
5月	25	1,906	63	22	0	32	627	133	2,783	146	5,416
6月	26	1,096	68	14	0	45	485	130	1,838	180	3,391
7月	27	1,099	324	12	0	92	318	124	1,969	233	3,657
8月	26	1,390	30	57	22	35	300	55	1,889	161	3,949
9月	26	1,404	151	29	0	15	490	153	2,242	12	4,630
10月	26	1,545	298	6	35	10	180	152	2,226	0	4,459
11月	24	963	192	14	0	5	301	80	1,555	0	2,839
12月	16	100	0	2	0	1	12	4	119	8	493
1月	24	111	0	14	0	1	28	5	159	0	619
2月	23	133	41	12	0	2	15	4	207	70	770
3月	26	434	0	13	0	24	75	28	574	11	1,511
合計	295	11,019	1,189	204	57	273	2,963	922	16,627	* 839	34,345

※館内施設利用(会議室等)は博物館入館者計に含まれる

(2) 学校利用状況

令和4年度の学校利用はのべ74校(保育所・こども園2校、小学校48校、中学校6校、高等学校・専門学校6校、特別支援学校7校、大学5校)2,560人の利用があった。前年度利用数と比較すると、学校数約83%、利用人数約79%であり、やや減少している。このうち、修学旅行先として20校(小学校14校、中学校4校、特別支援学校2校)976人の利用があり、令和3年度から引き続き、岩手県内の学校の利用が9割以上である。

(3) 本館における過去10年間の来場者数の推移



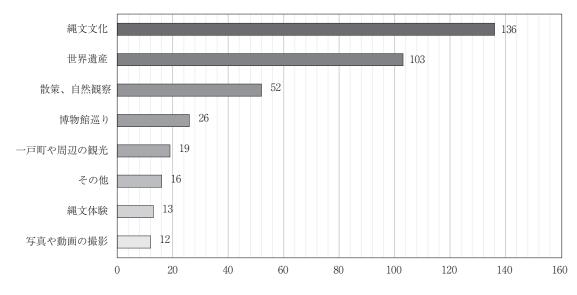
(4) アンケート結果

調査は、入館時の受付でアンケート用紙を配布し、記入を利用者の任意による自己記入式で行った。 アンケートの設問は、回答者の年齢、交通手段、来館回数、来館目的、公園や博物館の印象、SNS利用状況、意見・感想である。アンケート実施期間は令和4年7月~令和5年3月まで、回答件数は213件である。

なお、来館者数の集計期間は令和4年4月~令和5年3月まで、集計件数は14,467件である。

■来館目的(件)

※複数回答



■公園の印象(件)

よかった	210
あまりよくなかった	1
無回答	2

213

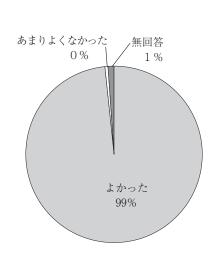
合 計

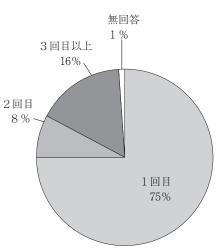
■来館回数(件)

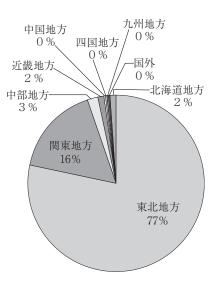
1	口	目	160
2	口	目	17
3	口	目	35
無	口	答	1
合 計			213

■地方別来館者数(件)

海道	直 地	方	214
北	地	方	11,140
東	地	方	2,269
部	地	方	359
畿	地	方	321
玉	地	方	37
玉	地	方	45
州	地	方	63
		外	21
合	計	·	14,467
	北東部畿国国州	北 地 東 地 畿 地 国 地 川 地	東部畿国国州地地地地地地地地







3 教育普及活動

(1) 御所野縄文プログラム

令和4年度は新たに、御所野縄文公園周辺の「縄文里山」を利用し、材料を採るところからものづくりまで、一連の流れを体験し、縄文時代のくらしに迫ろうとする「まるっと里山体験プログラム」、御所野縄文公園や博物館の資料について楽しく学ぶことを目的とした「ごしょのde学び体験プログラム」を実施した。

① 縄文体験

	体 験 内 容	人数
	土器づくり (野焼き:500g)	18名
	土器づくり (野焼き:1 kg)	44名
	土器づくり (窯焼き:500g)	32名
	土器づくり (窯焼き:1 kg)	40名
手	土笛づくり	18名
づ	繊維のストラップ	14名
<	樹皮のストラップ	450名
りプ	組みひもづくり	63名
	勾玉づくり	127名
グ	クルミの樹皮編み	22名
ラ	麻糸の縄文編み	0名
4	自然の糸の縄文編み	0名
	お守りづくり	23名
	ミニオカリナに絵を描く	38名
	色いろ葉っぱバック	70名
	木でつくる森の仲間たち	0名

	体 験 内 容	人数
プま	カゴをつくろう	17名
ロるが	縄文の縄をつくろう	24名
グラ	縄文の布をつくろう~アカソ~	3名
ム山	縄文の布をつくろう~カラムシ~	9名
	土器で煮炊き体験【中止】	0名
まなび	ぬいぐるみお泊り会	5名
びプロ	縄文の星空を体験しよう	4名
ログラ	正月飾りをつくる	13名
ラ ム de	一戸町の絵馬を描いてみよう	2名
	冬の縄文公園を歩いてみよう【中止】	0名
	樹皮はがし	36名
そ	正月飾りづくり	22名
	土器で煮炊き体験	28名
0	御所野の記事を書いてみよう	9名
他	ドキドキ考古学者体験	4名
	火おこし体験	63名

② 出張体験

No	月 日	体 験 内 容	団体名・イベント名	会場	人数
1	7月20日	葉っぱバッグづくり	どんぐり会	旧楢山へき地保育所(一戸町)	7名
2	7月28日	樹皮のストラップ	笑おう会	姉帯地区多目的集会施設(一戸町)	6名
3	7月28日	樹皮編み	英語キャンプ	奥中山高原センターハウス (一戸町)	16名
4	11月30日	正月飾りづくり	七時雨大学	寺田コミュニティセンター(八幡平市)	9名
5	1月14日	土器づくり(窯焼き:1 kg)	一戸子供の家保育園	一戸子供の家保育園(一戸町)	18名
6	1月25日	土器づくり(窯焼き: 1 kg)	いちのへじょうもんの里こども園 (一戸町)	いちのへじょうもんの里こども園 (一戸町)	18名
7	1月26日	樹皮のストラップ	一戸町立一戸中学校	一戸町立一戸中学校(一戸町)	55名

手作りプログラム



樹皮のストラップづくり



葉っぱバックづくり (どんぐり会)

まるっと里山プログラム 縄文の布を作ろう~カラムシ~



カラムシを採る



繊維を取り出す



カラムシの繊維でコースターを編む



完成したコースター

ごしょのdeまなびプログラム



一戸町の絵馬を描いてみよう



御所野の記事を書いてみよう

(2) 縄文里山活用事業

No	月日	事 業 名	内容	人数
1	5月28日	バードウォッチング	御所野縄文公園での野鳥観察 講師:カシオペア連邦野鳥倶楽部 高橋宏明氏	16名
2	4月~3月	里山観察会	一戸地域おこし協力隊と共同での里山作り活動(植物観察·整備作業) 場所:縄文の森、町有林	122名

(3) 講演・講座

① 御所野講座

全11回にわたり、高田和徳館長による御所野遺跡における建物復元の取り組みや縄文里山づくり事業などをテーマとした「御所野講座」を実施した。参加人数は平均11.5人、合計127人が参加した。

No	月日	テ ー マ	人数
1	4月23日	縄文里山について	25名
2	5月28日	縄文時代の建物復元について	14名
3	6月25日	御所野遺跡の掘立柱建物跡	7名
4	7月23日	巨大木柱の復元	8名
5	8月27日	縄文時代の建物復元について(2)	11名
6	9月24日	樹木の利用 (縄文時代から中世まで)	10名

No	月日	テ ー マ	人数
7	10月29日	縄文人の食料(御所野遺跡から)	13名
8	11月26日	縄文時代の編みかご	12名
9	12月17日	世界遺産をいかしたまちづくり	8名
10	1月28日	縄文時代に茅葺き屋根はなかった?	9名
11	3月4日	縄文時代の土屋根の竪穴住居	11名

② 出張講演

No	月日	内容	場所	担当名	人数
1	5月10日	九戸村教育振興運動集約集会 「御所野遺跡のここが世界に認められた」	九戸村	高田和徳	30名
2	5月20日	盛岡の歴史を考える会歴史講座 「縄文人の暮らしと祈り一御所野遺跡から一」	盛岡市	高田和徳	120名
3	6月2日	二戸地区社会教育連合会総会 「縄文文化の世界遺産登録について―御所野遺跡を中心に―」	二戸市	高田和徳	40名
4	6月8日	ふれあい・いきいきサロン事業 「これまでとこれからの御所野遺跡について」	一戸町	高田和徳	24名
5	6月15日	久慈地方社会教育連合会総会 「縄文文化の世界遺産登録について―御所野遺跡を中心に―」	久慈市	高田和徳	30名
6	6月26日	文化財保存全国協議会代52回東京大会 「岩手県一戸町御所野遺跡の保存と活用」	東京都	高田和徳	76名

No	月日	内容	場所	担当名	人数
7	6月27日	成田ユネスコ協会世界遺産講演会 「御所野遺跡と縄文文化について」	成田市	高田和徳	50名
8	6月29日	一戸町立一戸南小学校 お話朝会 「ごしょの縄文人の 1 ねんかん」	一戸町	峠 友香	72名
9	7月20日	第50期寿大学 第4回講座 「世界遺産になった御所野遺跡と軽米町の縄文遺跡」	軽米町	高田和徳	45名
10	7月27日	世界遺産登録1周年記念講演 「御所野遺跡を支えた人々―今までの活動とこれからについて―」	一戸町	高田和徳	30名
11	8月31日	一戸町立一戸小学校 御所野遺跡学習会 「御所野遺跡と世界遺産について」	一戸町	鈴木雪野	200名
12	9月10日	丹波の森大学 「世界遺産になった縄文遺跡の縄文里山づくり―岩手県御所 野遺跡―」	兵庫県 丹波市	高田和徳	60名
13	9月15日	北海道埋蔵文化財担当職員研修会 「岩手県一戸町御所野遺跡の建物復元について」	洞爺湖町	高田和徳	9名
14	9月28日	大人の休日倶楽部趣味の会 地域連携講座 「御所野遺跡からのメッセージ―岩手県御所野遺跡から―」	東京都	高田和徳	50名
15	10月8日	東名遺跡保存活用イベント 第2回おもしろ縄文講座 「御所野遺跡の縄文里山づくり」	佐賀市	高田和徳	60名
16	10月12日	防府ユネスコ協会世界遺産講演会 「北海道・北東北の縄文遺跡群について―岩手県御所野遺跡 から―」	山口県 防府市	高田和徳	50名
17	10月28日	岩手県建設業界C級会研修会 「縄文時代の建物と世界遺産」	二戸市	高田和徳	27名
18	11月5日	いわて希望塾 「縄文遺跡からのメッセージ―岩手県御所野遺跡から―」	二戸市	高田和徳	70名
19	11月11日	二戸地区学校事務研究会第2回全体研究会 「御所野遺跡の世界遺産登録と調査研究活動」	二戸市	高田和徳	27名
20	12月2日	DESIGN MUSEUM JAPAN 展 ギャラリートーク	東京都	高田和徳	40名
21	12月11日	山田町第13回歴史講演会 「縄文遺跡からのメッセージ―御所野遺跡と山田町の縄文遺 跡から―」	山田町	高田和徳	60名

No	月日	內 容	場所	担当名	人数
22	1月29日	放送大学岩手学習センター公開講演会 「御所野遺跡からのメッセージ」	盛岡市	高田和徳	22名
23	2月12日	下町町内会歴史講話会 「世界遺産御所野縄文遺跡を含む北東北の縄文文化について」	一戸町	鈴木雪野	14名
24	2月18日	第4回いちのへの宝展 講演会 「縄文時代に茅葺き屋根はなかった?」	一戸町	高田和徳	69名
25	2月28日	春季観光シーズンに向けたおもてなし研修会 「御所野遺跡と世界遺産」	一戸町	後藤宗一郎	30名

(4) 原稿執筆

No	年 月 日	内	担当名
1	令和4年4月~ 令和5年3月発行	「とちの実通信」『ぐるっと』 VOL.191 ~ 202	後藤宗一郎
2	令和 4 年 6 月26日開催	「岩手県御所野遺跡の保存と活用」『2022年度文化財保存全国協議会第 52回東京大会資料集 東日本の世界文化遺産の現状と課題』	高田和徳
3	令和 4 年 11月発行	「New TOPICS 御所野遺跡について」『人文知ニュースレター』 VOL. 3 一般社団法人人文知応援フォーラムニュースレター	高田和徳
4	令和5年 1月1日発行	「縄文から続く編みの技術 一戸町・鳥越の竹細工」『更生保護みちの く』 第715号 岩手県保護連合会	峠 友香
5	令和5年 1月発行	「縄文遺跡の保存と活用―岩手県御所野遺跡―」『明日への文化財』88号 文化財保存全国協議会	高田和徳

(5) 博物館実習・インターンシップ

No	年 月 日	内	人数
1	8月2~6日	学芸員資格取得に要する実務実習の対応	1名
2	11月23~1月20日 (期間中6日間)	学芸員資格取得に要する実務実習の対応	1名
3	8月24・25日	御所野縄文博物館における職業体験	5名

4 調査研究

事 業 名		内容	人数
1. 同志社大学との 共同研究	○期日○内容	5月~1月 エゴマ栽培実験の畑の管理、記録作業 縄文時代の植物利用について、同志社大学から委託を受け共 同実験を行う	のべ 111名
2. 金沢大学との 共同研究	○期日○内容	5月~11月 現生植物の果実採集、加工作業に係る調査 縄文時代の植物利用について、金沢大学から委託を受け 共同実験を行う	のべ 150名
3. 東芝国際交流財団支援事業 文化遺産マネジメントに関する国際比較研究会	○期日	①10月29・30日 第1回御所野遺跡周辺トレイル開発フィールドワーク ②3月17・18日 第2回御所野遺跡周辺トレイル開発フィールドワーク 根反珪化木地帯、奥州街道、滴生舎などを視察し、国内外の観光客が御所野遺跡と地域の文化遺産を体感する滞在型プログラムの開発を目指す	①7名 ②4名

5 ボランティア活動状況

(1) 御所野遺跡を支える会活動状況(会員数 26名)

① 目 的

御所野遺跡のボランティア活動をとおして、郷土の歴史に誇りをもつとともに、御所野遺跡の文化財を正しく受け継ぎ、その歴史的事実と価値を学び伝え、文化財愛護の思想の普及に努めることを目的とする。

② 事業内容

- 御所野遺跡を愛護し、地域の財産として保全する活動をする。
- 御所野遺跡の案内活動をする。
- 町内外に対し、御所野遺跡の啓蒙、啓発、宣伝などをおこなう。
- 会員相互の交流を図る。
- その他、この会の目的を達成するために必要なことをおこなう。
- ③ 令和4年度事業内容
 - 活動状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
活	動	日	数	5	23	26	29	16	25	24	15	3	0	3	1	170
ガイ	, ド海	舌動 [可数	6	41	37	42	23	39	47	34	3	0	2	1	275
案内	した	見学	者数	46	549	336	521	240	547	621	349	9	0	38	1	3,257
案内	可した	で団作	本数	22	152	103	112	64	147	143	80	3	0	2	3	831

• 活動

4月3日 総会(14名参加)

4月23日 クリーンデー (12名参加)、御所野講座 (11名参加)

4月24日 ガイド講習会(3名参加)

5月7日 御所野遺跡ボランティア連絡協議会役員会(5名参加)

5月22日 植物調査(1名参加)、エゴマの種まき、木の名札付け(3名参加)

5月28日 御所野講座(4名参加)、御所野遺跡ボランティア連絡協議会総会(9名参加)

6月26日 御所野講座 (2名参加)、ガイド研修 (1名参加)

7月2日 エゴマ畑草取り (3名参加)

7月23日 御所野講座(2名参加)

7月27日 世界遺産登録1周年記念講話(高田館長)(12名参加)

8月7日 クリの木の伐採(5名参加)

8月21日 里山観察会(1名参加)

8月27日 御所野講座(4名参加)

9月24日 御所野講座(5名参加)

10月2日 世界遺産登録1周年記念フォーラム(盛岡)(4名参加)

10月16日 里山観察会(1名参加)

10月20日 ガイド研修会(6名参加)

10月22日 世界遺産登録記念講演会(4名参加)

10月27日 エゴマ収穫 (3名参加)

10月29日 御所野講座(7名参加)

10月31日 植物調査(1名参加)

11月9日 エゴマ収穫 (3名参加)、二ツ森貝塚交流会 (6名参加)

11月12日 クリーンデー(8名参加)

11月20日 里山観察会(1名参加)

11月23日 ボランティア交流会(大湯環状列石、伊勢堂岱遺跡)(4名参加)

11月26日 御所野講座(4名参加)

12月10日~12日 御所野遺跡ボランティア連絡協議会研修会(北海道)(4名参加)

12月11日 里山観察会(1名参加)

12月14日 岩手の3つの世界遺産ガイド交流会(平泉)(2名参加)

12月17日 御所野講座(5名参加)

1月22日 里山観察会(1名参加)

2月2日 里山観察会(1名参加)

2月12日 いちのへの宝展打合せ(6名参加)

2月14日 ガイド研修(冬の公園内)(4名参加)

2月18日 いちのへの宝展ステージ発表(4名参加)

2月25日 令和4年度調査発表会(5名参加)

2月29日 里山観察会(1名参加)

3月11日 総会資料準備(3名参加)

3月31日 総会準備(6名参加)

- (2) 自然と歴史の会活動状況(会員数 24名)
 - ① 目 的

自然および歴史についての情報交換と相互の研鑽親睦を図る事を目的とする。

- ② 事業内容
 - 自然観察会および歴史探訪
 - 講演会および研修会
 - 会報の発行
 - 一戸町教育委員会への協力
- ③ 令和4年度事業内容
 - 自主事業

4月28日役員会(5名参加)5月28日通常総会(11名参加)6月13日刈払い打合せ(5名参加)

7月18日 奥州街道一里塚刈払い(7名参加)

7月27日 世界遺産登録1周年記念講話(高田館長)(4名参加)

7月27日 奥州街道一里塚刈払い(1名参加)

12月10日~12日 御所野遺跡ボランティア連絡協議会研修会(3名参加)

12月11日 ガイド研修・情報交換会(3名参加)

- (3) 御所野発掘友の会活動状況(会員数 22名)
 - ① 目 標

この会は、一戸バイパス建設に伴う遺跡発掘調査からはじまった遺跡発掘調査に携わった方々で構成され、一戸町の古くて最も新しい財産である「御所野縄文公園」を守るとともに、会員同士の親睦を図ることを目的とする。

② 令和4年度事業内容

通常総会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

• 定例活動

6月13日事務所裏の草取り(13名参加)7月11日事務所裏の草取り(8名参加)8月1日食事場所清掃(7名参加)9月12日事務所裏の草取り(11名参加)10月11日事務所裏の草取り(11名参加)

• イベント等

4月23日クリーンデー (16名参加)11月12日クリーンデー (9名参加)

• ボランティア研修

10月2日 世界遺産登録1周年記念フォーラム(アートホテル盛岡)(4名参加)

12月10日~12日 御所野遺跡ボランティア連絡協議会研修会(北海道)(1名参加)

- (4) 御所野遺跡ボランティア連絡協議会(会員数 58名)
 - ① 月 的

御所野縄文公園で活動しているボランティアグループの会員が相互に連携しながら親睦を深め、御 所野遺跡の保存と活用を図ることを目的とする。

- ② 事業内容
 - 御所野縄文公園内施設および植物の維持管理
 - 御所野縄文公園見学者のガイド
 - 各団体の育成、会員相互の交流に関する事業
 - その他目的達成のために必要な事業
- ③ 令和4年度事業内容
 - 自主事業

5月17日 役員会(10名参加) 5月28日 通常総会(16名参加)

7月27日 世界遺産登録1周年記念講話(高田館長)(30名参加)

12月10日~12日 ボランティア研修会(7名参加)

• 一戸町、いちのへ文化・芸術NPO主催事業

4月23日 クリーンデー(31名参加)

7月27日 世界遺産登録1周年記念事業(30名参加)

11月12日 クリーンデー (31名参加)

3月25日 御所野遺跡ガイド講座 (5名参加)

その他事業

10月2日 世界遺産登録1周年記念フォーラム(7名参加)

12月11日 ガイド研修・情報交換会(7名参加)

12月14日 岩手の3つの世界遺産ガイド交流会(2名参加)

- (5) 御所野愛護少年団活動状況(会員数 60名)
 - ① 目 標

御所野遺跡の愛護活動を通して、自分たちの郷土に誇りを持ち、環境や歴史的財産を守ろうとする 態度を育てる。

- ② 活動の重点
 - 御所野の自然や歴史に目を向け、自主的に探求活動に取り組ませる。
 - 御所野の自然や環境を守る活動を自主的、主体的に行う、実践的な態度を育てる。
- ③ 活動内容
 - •組織

一戸町立一戸南小学校の3年生から6年生までの児童により御所野愛護少年団を結成し、活動を 行う。

団員: 3年生15名、4年生14名、5年生16名、6年生15名 計60名

• 活動内容

御所野縄文公園について理解を深める活動をする。(博物館見学、体験学習等) 御所野縄文公園の環境を保護する活動を行う。(植栽活動、清掃活動等)

御所野縄文公園を多くの人に知らせる活動を行う。(パンフレット作成、学習発表会等)

• 令和 4 年度活動報告

4月15日 結団式(3年生以上57名参加)

4月28日 一戸南小の御所野縄文学について、子どもガイドについて(6年生数名参加)

 5月24日
 春の御所野愛護活動(全校73名参加)

 5月31日
 PR大使任命式(5・6年生31名参加)

 6日0日
 佐営社会でのPRJまれ (6.5万以われ)

6月8日~9日 修学旅行でのPR活動 (6年生参加)

6月22日~23日 宿泊研修でのPR活動(県北青少年の家)(5年生16名参加)

7月5日御所野縄文学習(5・6年生31名参加)7月27日御所野ガイド(5・6年生31名参加)7月31日奥中山発表(5・6年生31名参加)

8月 めんこいテレビ取材

9月 御所野調査活動(5・6年生31名参加)

10月4日 御所野ガイド(6年生15名参加)

10月8日ユネスコ青森大会発表 (6年生3名参加)10月13日秋の御所野奉仕活動 (3年生以上60名参加)

11月1日 ガイド練習 (5・6年生31名参加)

11月2日 滝沢中央小学校交流ガイド(5・6年生31名参加)

 2月1日
 御所野縄文学実戦交流会(6年生15名参加)

 2月2日
 世界遺産児童交流会(6年生中心に参加)

2月15日 授業参観(総合発表会)(5・6年生31名参加)

3月3日 金田一小学校とのガイド交流 (4・5・6年生45名参加)

3月16日 御所野ガイド引継ぎ(4・5・6年生45名参加)

3月17日 団員卒業 (4・5・6年生45名参加)



北海道ガイド研修及び情報交換会



自然と歴史の会 一里塚の刈払い



御所野遺跡を支える会 ガイド活動



御所野愛護少年団 奉仕活動

IV 旧朴舘家住宅活用状況

1 概 要

旧朴舘家住宅は、小鳥谷駅から南へ約2.6kmに所在する岩手県内最大規模の茅葺民家である。文久2年 (1862) に建てられたと伝えられる江戸時代末期の建造物であり、間口16間半 (約30m)、奥行9間 (約16m)、総面積約150坪 (約495㎡) の規模を有する。

朴舘家は、二戸市浄法寺町漆沢の墓地にあった石塔の年代や、朴舘家の菩提寺であった実相寺に残る記録から、江戸時代中期に漆沢から現在地に移り住んだと考えられる。大正〜昭和初期には山林約750町歩(約750ha)、田畑約12町歩(約12ha)を所有する大地主であった。朴舘家は駒木地区における生業や信仰、年中行事の中心的な役割を担っていた。

このように旧朴舘家住宅は、盛岡藩領における上層民家の特徴をよく示しており、高い価値が認められることから平成23年11月29日、国の重要文化財に指定された。

現在は毎年6月頃に旧朴舘家住宅において神楽公開を開催し、一戸町内の神楽の披露の場となっている。

2 朴舘家住宅保存会活動状況

(1) 目的

朴舘家住宅保存会は、国指定重要文化財「旧朴舘家住宅」の保存を図るとともに、地域の文化財を正 しく継承し、あわせて文化財愛護思想の普及に資することを目的とする。

(2) 事業

朴舘家住宅保存会は、目的を達成するために次の事業を行う。

- ① 旧朴舘家住宅の保存のため、必要な修繕を行い、その保存に努める。
- ② 旧朴舘家住宅の文化財的価値を正しく認識し、宣伝啓発に努める。

(3) 事業実績

事 業 名	実 施 状 況	参加人数
1. 総会	○期日 6月14日	10名
2. 神楽公開	○期日 中止(代替事業)いちのへ神楽 6月19日○場所 奥中山高原にぎわい市特設会場○内容 出演:女鹿神楽、小友神楽	115名
3. 火入れ	○期日 年間42回 ○内容 防湿・防虫のため囲炉裏への火入れを行う。	のべ84名



旧朴舘家住宅



旧朴舘家住宅保存会 火入れ

3 見学ノート記帳者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	16	117	57	16	27	49	45	40	9	0	3	16	395

4 見学者からのメッセージ

見学月	感想	市町村名	年代
	私の家も平成元年に火事になり、その時の家がこのような家でした。なつかしさ を感じ、すばらしいと思いました。	青森県三戸町	50代
	"はり"と柱の組たてが興味深いものでした。思いの外、柱は"はり"と比べて細いものでした。参考になりました。	_	70代
	迫力と歴史を感じました。地域の生活と産業(生業)に根付いた存在だったのだろうと、往時が偲ばれます。ありがとうございました。	町内	40代
4 日	軽米から来ました!すばらしい!私は19才から50年ほど東京に暮らし2年半前に軽米に帰って来ました。5~7才ぐらいまではかやぶきの曲家が数軒あり、子供なりにかっこ良い家だと!!管理大変かと思いますが、残して下さい!	軽米町	70代
4月	150年前ですか!!	千葉県	70代
	"すごい"の一言につきますね!!	町内	_
	こんなところにこんなすばらしい重要文化財があったとは … 驚きでした!	盛岡市	_
	歴史を感じる古民家でした。素晴らしいです。	二戸市	40代
	子供の頃を思い出し感動しました。ありがとうございます。	青森県八戸市	70代
	広い!!	八幡平市	50代
	すごい!!	秋田県大仙市	40代
	すごい。	奥州市	40代
	すばらしいです!!	盛岡市	40代
	保存ありがとうございます。	神奈川県小田原市	50代
	いにしえを感じました。	茨城県水戸市	_
	旧家屋の趣を感じた。	盛岡市	20代
	良かった!! なつかしかった。	北海道	40代
	良きかな。	北海道	10代
_ = =	とても歴史を感じるものでよかった。	北海道	10代
5月	新鮮だった。想像よりも畳より板の間が多くいろりも部屋にあっておもしろかった。	北海道	10代
	なつかしいものを見せていただきました。ありがとうございました。	西和賀町	60代
	字と苗字が同じですがどちらが先なのでしょうか。いずれにせよ名家であった趣 を感じ取りました。日本は和作こそが安也。	東京都千代田区	20代
	いつまでも長く見せてください。	盛岡市	70代
	おどろきです。	青森県青森市	70代
	素晴らしい!!	京都府宇治市	40代
	大きいので驚きと同時にいつまでも保存して下さい!	奈良県生駒市	60代

見学月		市町村名	年代
	国道4号線の看板。ずっと気になってました。感動しました。	_	60代
	町内にいながら中を見るのは初めてでした。	町内	60代
	いつまでも、残してほしいです。	二戸市	40代
	広いのに驚きました!	盛岡市	60代
	又、見に来ます。	_	70代
	なつかしいです。	盛岡市	70代
	又来ます。久しぶりでした。	二戸市	80代
	すばらしい。	東京都八王子市	40代
	凄いです。大屋根がめずらしいです。写真映えのする金持ちの住宅。	八幡平市	70代
5月	見学できる状態を維持しているのがすばらしいです。	盛岡市	40代
	見応えありました。	青森県八戸市	60代
	恐れ入りました。できたら末永く保存してもらいたいものです。	新潟県三条市	_
	大きさにびっくりしました。	滝沢市	_
	囲炉裏で床や天井が黒く光っていて、昔の方の知恵を感じました。うるしを作る 木もあって、博物館で見たものを実際使っていたんだぁ~ってやっぱり感動です。	東京都	40代
	ありがとうございます。	洋野町	50代
	すごかったです。	二戸市	20代
	昔の暮らしが見えた気がした。それをそのまま維持していくのが大変だと思った。 ありがとうございました。	花巻市	50代
	昔住んでいた家を思い出した。	青森県	30代
	なつかしいニオイがしました。歴史に圧倒されました。	盛岡市	40代
	懐かしい。祖父の家も一部こうでした。	千葉県	50代
6月	地区公民館の行事で見学させていただきました。建物の大きさにびっくりしました。また、中を見学させていただき、むかしの人の生活を少し感じたような気が しました。	盛岡市	70代
	岩手の北部より来ました。大事に保存してくださり本当にありがたいです。何年 もてるか大事にしていきましょう。	_	80代
	幼少の頃思い出してしまいました。懐かしく感無量です。	久慈市	70代
	茨城にはない大家屋。感激。	かすみがうら市	70代
	大きな"かま"や"まや"、天井の"はり"など感激いたしました。	盛岡市	20代
	管理が大変だと思いますが、大変立派な建物でした。大切にしてください。	青森市	50代
	とにかく全部すばらしいです。はじめての体験ばかりで感動です。	盛岡市	70代
7月	天台寺に向かう途中でたまたま見つけて寄らせて頂きました。貴重な古民家を町や県でもっと支援してPRして知らしめてください。ありがとうございました。	岩泉町	60代
	全国の文化財を巡っています。個人の所有で重要文化財はめずらしく、維持も大変だとお聞きしています。このようなすばらしい建造物が残っていることが大変 有難いです。	千葉県流山市	50代
	修復が必要ですな。	盛岡市	40代

見学月	感想	市町村名	年代
	文化財保護、大変ですががんばって頂きたいです。少しですが協力します。	山形県	_
	立派なお屋敷で感動しました。	岡山県笹岡市	50代
	今日は雨だったので、晴れた日にまた来ます。素敵な建物でした。ずっと大切に 残したい。	青森県八戸市	50代
	盛岡市の写真サークルで勉強中です。岩手県内の古民家の写真を撮っています。	盛岡市	70代
8月	りっぱなお屋敷でした。維持するのは大変ですが、残してほしいと思います。	-	60代
	国指定重要文化財であれば国道4号線に看板を出すべきです。もっとアピールしてください。入口に小さな看板はありますがあれだけでは気付かない人も多いでしょう。	町内	50代
	とても勉強になった。パンフ頂きます。	東京都北区	50代
	立派な構えのお家です。感謝申し上げます。	花巻市	40代
	久しぶりに見せていただきました。	二戸市	_
	立派な柱、"はり" すべてすばらしい。貴重なものをみせていただきました。	八幡平市	30代
	ありがとうございます。いいもの見させてもらいました。	滝沢市	40代
	ありがとうございました。感動しました。	八幡平市	40代
	内の座敷を見て、びっくりです。そして、お名前「朴舘」初めてです。どうぞこれからも、できるだけお屋敷を大事になさって下さればと願っております。	青森県平川市	60代
	とてもすばらしい建物でした。このような建物を保存し、見せていただきありが とうございます。来られてよかったです。	青森県十和田市	40代
	とても感動しました。ありがとうございます。	二戸市	40代
	ありがとうございます。	町内	_
	維持大変かと思いますがとても参考になりました。ありがとうございました。	青森県青森市	50代
	古いお家が好きなので、来れてよかったです。本物のいろりが見れて嬉しかったです。いつかかやぶき屋根のおうちに住んでみたいです。	盛岡市	10代 未満
9月	通りすがりに看板見つけて良かったです。ありがとうございます。	-	40代
	昔の家の様子がよくわかりました。コウモリには会えませんでした。	_	_
	見学させていただき、ありがとうございました。	矢巾町	50代
	古民家を知らない孫が大変驚いていました。大きく立派な造り、ビックリでした。	二戸市	70代
	良かったです。	宮城県仙台市	70代
	大きい!	北海道札幌市	50代
	中に入っていけるとは思わなかったので嬉しかったです。	宮城県仙台市	20代
	トトロに出てくるおばあちゃんちみたいでした。	盛岡市	20代
	大変貴重なものを見させて頂きました。ありがとうございます。この壮大さは現 代ではなかなか感じることは不可能です。	久慈市	30代
	タイムスリップしたかのような気分になりました。栄えた頃の様子がうかがえて ます。保存が大変と思いますが、こうして残して下さってありがとうございます。	青森県八戸市	60代

見学月		市町村名	年代
	親戚の家と同じ匂いがしました。後世の残すべき大切なものだと思います。ありがとうございました。	二戸市	30代
	大きい家で大変感動しました。懐かしさも有り、楽しかったです。また来たいと 思います。	盛岡市	30代
	昔の人の構造、材料について見て考える時間がおもしろかったです。ありがとう ございました。	千葉県鎌ケ谷市	30代
	たいへん大きな家で感動しました。きれいに保たれていてすばらしいと思います。	釜石市	60代
	見学できてとても良かったです。昔の家はこうだったんだなとびっくりしたと共 に感動しました。ありがとうございました。	青森県八戸市	50代
	やっと見に来られました。大切に保存されており、感動いたしました。	青森県八戸市	60代
	町内なのにこちらを知ったのは最近です。	町内	50代
10月	テレビで知りました。私が小さい頃の思い出がよみがえりました。とても良かったです。ありがとうございました。	盛岡市	40代
	広くて立派なお屋敷に感動しました。	福岡県福岡市	70代
	10年前に主人と来ました。すばらしい家なので又訪れました。庭のいさごもめずらしいです。	一関市	50代
	すごい。どうぞ大切に。	青森県八戸市	80代
	大きさにおどろきました。維持が大変でしょうがなんとかのこしてほしい文化財 です。ありがとうございました。	神奈川県秦野市	70代
	正防寺並のかやぶきに驚いています。昔の生活様式を見ることができ、勉強になりました。	盛岡市	50代
	ビックリしました。	洋野町	70代
	ありがとうございました。	二戸市	50代
	二度目の訪問。雰囲気のよい住宅。今はめずらしい建物。大切にしてほしいです。	_	60代
	朴舘家の総合学習。講師、月舘敏栄氏。	町内	10代
	二度目の見学。本日は家族で。	宮城県仙台市	70代
	立派なつくりにびっくりです。古い建物、これ程広い古家は見たことありませんでした。大事にしたいです。	青森県八戸市	_
	日本の伝統と文化を大切に守っていきたいと思います。文化の継承の観点からも、 旧朴舘家住宅の保存は大切だと思いました。紅葉が美しい秋に来られて良かった です。	神奈川県川崎市	50代
	すごく大きくてびっくりしました。	岩手町	60代
11月	貴重なものを見せて頂きありがとうございました。	二戸市	_
	ありがとうございました。	青森県六ヶ所村	40代
	昔の実家を思い出す。ありがとうございました。	盛岡市	70代
	すばらしいですね!ありがとうございました。	盛岡市	50代
	いい体験をさせて頂きました。	盛岡市	30代
	建物、昔は良かったと思います。すばらしい。いつまでも保存されますことを願います(今の家は小さすぎて悲しい)。昔の生活を思い出しました。	盛岡市	_
	昔のことを思い出し、なつかしくなりました。	町内	-

見学月	感想	市町村名	年代
	すばらしい建物を保存されていることに感謝します。ありがとうございます。	_	40代
	火入れの所、見学させていただきました。ありがとうございました。	町内	60代
12月	前から気になっていた場所に来られて感動しました。憧れの山暮らしを始めたたちにとって生活のヒントや希望、わくわくでいっぱいの時間でした。生き方迷ったらここに来ようと思います。本当にありがとうございました。		30代
	梁組と屋内の雰囲気がとても良い。壁の落書きが残念に思いました。	山形県山形市	50代
	_	葛巻町	60代
2月	感動しました。歴史を感じました。	宮城県東松島市	70代
2 / 3	ワクワクします。すばらしかったです。座敷童を感じられるすばらしい文化財 す。ずっと残し続けてください。	虚岡市	20代
	昭和の暮らしが見えるようです。建物の柱が太くて大きくてビックリです。何家族だったのかどんな暮らしぶりか想像しながら回りました。ありがとうごさました。		50代
	広さにビックリしました。歴史を感じました。ありがとうございました。	盛岡市	50代
	感謝申し上げます。	花巻市	50代
	広すぎてびっくりしました。	青森県平川市	70代
	りっぱすぎました。	神奈川県	10代 未満、 30代
	素敵なお宅でした。我が家も家を大切にしたいと思います。	矢巾町	40代
	とってもりっぱでかんげきしました。	青森県板柳町	40代
	すこしこわかったけど、ゆかもぼろいけど、とてもすてきでした。	青森県板柳町	10代
3月	ありがとうございました。	一戸町、二戸市	60代、 80代
	_	花巻市	70代
	久しぶりに来ましたがとてもすごいものだと感じました。貴重な文化財だと思ます。	(/) 一戸町	10代
	地元ですが初めて建物の中に入りました。県外の方や年配の方が多く来ていてきました。もっと広く伝わってほしいです。	一戸町	10代
	自分は床をとてもきにいりました。	一戸町	10代
	おばあちゃんの家を思い出しました。とてもなつかしい思い出です。これから 代々残していって下さい。	も 東京都北区王 子本町	40代
	昔の母の実家を思い出しました。	青森県八戸市	60代
	おばあちゃんと家族みんなで来ました!!昔っぽい家が好きで、また来たいと思ました。昔の暮らしにまた触れたいです!!とても素敵なところでした。	山形県山形市	10代

V 姉帯城跡活用状況

1 概 要

姉帯城跡は小鳥谷駅から西北西に約1.3km、馬淵川北岸の標高約200 ~ 250mに位置する。中世南部氏の 一族である姉帯氏の居館跡といわれている。

城跡は、東西2つの館で構成され、西の館は東西約130m、南北60m、東の館は東西約120m、南北100mの規模をもつ。2つの館の間には堀と土塁が築かれ、東の館の東端には二重の堀が巡る。西の館の西側には東西約50m、南北20mの平場があり、平場の西側に堀切状の窪みが残っている。

平成8年度~10年度の3年間、一戸町教育委員会が学術調査を行なったところ、15~16世紀の建物跡や墓壙と考えられる土坑などが多数見つかった。土坑からは人骨のほか、銅鏡や古銭などの副葬品が出土した。周辺からは槍や刀、鎧金具や鉄砲玉鋳型などの武具が多く見つかっており、合戦の痕跡がうかがえる。その他、中国産や国産の陶磁器などの生活用具とともに、天目茶碗や茶臼などの茶器道具も見つかっており、戦国時代の地方豪族の豊かな生活の一端も明らかになっている。

保存状態が極めて良好で城館の特徴をよく残していることから、平成5年5月1日、町史跡に指定された。

現在は農村公園として整備され、地域の有志の方々による草刈り等が行われている。

2 見学ノート記帳者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	0	6	1	1	2	0	0	3	0	0	0	0	13

3 見学者からのメッセージ

見学月	感想	市町村名
5月	何年かぶりに来てみました。歴史のある城だったんですね。大切に保存して下さい。	福島県福島市
	登山口入口より車を置き歩いて来ました。	石川県金沢市
	初めてです。とても広いです。	二戸市
6月	実戦時代の貴重な遺構と思います。	大阪府吹田市
7月	『天を衝く』で姉帯氏を知りいつか来たいと思っていました。九戸政実の想いに思いをはせます。きれいに整備されており、ご苦労様です。	花巻市
8月	義父の御先祖に巡り会えて感激。	花巻市
	先祖の城跡に来られて光栄です。また来たいと思います。	神奈川県横浜市
11月	すごい場所ですね。	青森県六ヶ所村

VI 一戸町地域伝統技術交流館利用状況

1 施設概要

施設の名称	一戸町地域伝統技術交流館		施設内容	面積(m²)	主な利用内容	
施設住所	二戸郡一戸町岩舘字馬場平31-2		/二·/ / /大	000.00	伝統技術の伝承活 動、交流活動	
設 置 者	一戸町教育委員会	主	伝統技術交流館	283.08		
管理委託団体	岩舘地区公民館	ななな	郷土芸能・伝統技術	73.92	伝統技術用具の保管	
	構造材料鉄骨	施設	用具室	13.92		
	階 数 1階	成 の	休憩室・会議室	69.72	体験・休憩室・会議	
施設構造	延 床 面 積 616.6㎡	仕	小心王 A 晚王	03.12	下一次 下心王 五郎	
	竣 工 年 平成14年	様				
	供用開始年度 平成14年度		伝統料理体験室・実 習室	32.76	伝統料理の体験実習	
利用対象	町内郷土芸能保存会等					
設置目的	郷土芸能及び伝統技術の伝承活動、	体馬	検交流			

2 利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	59	53	84	52	29	20	104	39	49	62	108	119	778

資 料 編

1. 令和4年度調查成果発表会資料

令和4年度調査成果発表会開催要項

- 1 目 的 御所野遺跡の調査研究を中心に、その他町内の文化財に関わるさまざまな活動を町民に周知し、 共有することで、地域の歴史文化の価値を再確認し、それらを生かした新たな一戸の文化やまち づくりの創造を目指す機会とする。
- 2 日 時 令和5年2月25日(土) 13:00~15:15
- 3 会 場 御所野縄文博物館 会議室(定員 60名)
- 4 主 催 一戸町教育委員会
- 5 共催 いちのへ文化・芸術NPO
- 6 内容
 - (1) 13:00~13:05 開会行事 主催者あいさつ 一戸町教育委員会教育長 中嶋敦
 - (2) 13:05~13:25 一戸南小学校 御所野愛護少年団 5年生 活動成果発表
 - (3) 13:25~14:05 活動報告
 - 「令和4年度文化財調査について(毘沙門堂遺跡)」 世界遺産課文化財調査員 出町拓也
 - 「縄文時代とそれ以後の建築材樹種の比較~一戸盆地を中心に~」

御所野縄文博物館 後藤宗一郎

「縄文里山づくりについて」

御所野縄文博物館 鈴木雪野

(休憩・換気 15分)

- (4) 14:20~15:10 講演「食用以外の縄文時代の種実利用―御所野縄文博物館との共同研究」 講師:佐々木由香氏 金沢大学古代文明・文化資源学研究所特任准教授
- (5) 15:10~ 閉会行事 あいさつ 御所野縄文博物館館長 高田和徳
- (6) 関連企画
- 8 その他 入場無料、事前申込不要 問い合わせ:御所野縄文博物館(TEL 0195-32-2652)
- 9 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
 - ・体調の悪い方(37.5℃以上の発熱など)はご遠慮ください
 - マスク着用、入館時の手指消毒、検温へご協力をお願いします
 - 感染状況により内容を変更する場合があります

令和4年度文化財調査について 一西法寺毘沙門堂遺跡の測量調査について一

一戸町教育委員会世界遺産課 文化財調査員 出町拓也

1. 西法寺毘沙門堂について

(1) 西法寺毘沙門堂について

名称:福寿山西法寺毘沙門堂

創建:大同2年(807) 坂上田村麻呂により建立されたといわれている。

再建: 寛文3年(1663)

伝承:以前は茂谷の山の中腹にあったと考えられている。

かつて34のお堂をもつ寺院であったともいわれるが、詳細はわかっていない。

指定:平成3年(1991) 岩手県有形文化財

(2) 西方寺毘沙門堂から見つかった資料

仏像 (一部):「阿弥陀如来坐像」「毘沙門天立像」「地蔵菩薩立像」(一戸町指定有形文化財)

本尊→「毘沙門天立像」(室町時代の作)

絵 馬:馬を題材にしたものが多い。馬以外にも鳥や動物、故事故事(昔にあった出来事)を題

材にしたものもある。

出土遺物:「櫛目波状文双耳壺」(一戸町指定有形文化財)

毘沙門堂本堂裏の尾根から出土。12世紀後半~13世紀(奥州藤原氏時代)の資料。

2. 今年度の調査について

(1) 西法寺毘沙門堂総合調査計画について

① 総合調査計画の概要

古代から信仰を集め、中世以降も地域の人々の信仰のよりどころとなってきた毘沙門堂と関連する 文化財の現状を文化的景観の視点から総合的に把握し、今後の一戸町のまちづくりに活かしていくこ とを目的とした総合調査。

② 今年度の調査計画について

目的:毘沙門堂遺跡の現状を把握し記録するため。

内容:「櫛目波状文双耳壺」が出土したとされる毘沙門堂の西側尾根頂部に所在する塚状遺構2基の測量調査。この塚は「西法寺経塚」の可能性が考えられる。

(2) 経塚について

経塚造成の背景には、末法思想の広まりが挙げられる。末法思想とは、仏教における歴史観の1つである。釈迦入滅後に「正法」、「像法」、「末法」の3時期が訪れるとされている。この3時期の最後にあたる時期が末法とされ、この時期は釈迦の教えだけが残り、その教えを実践する人がいなくなることで世の中が混乱すると考えられていた。

釈迦入滅から56億7000万年後に現れる弥勒菩薩が末法の時期を救うとされており、当時の人々は弥勒菩薩の出現に備えて経典を埋納し保存しようした。これが経塚造成の始まりとされている。

経塚とは、書写した仏教経典を土中に埋納した遺跡のこと。一般的には、仏教経典を経筒と呼ばれる 銅製の円筒状の容器に入れて埋納する。経筒は土がつかないように石や木材などで部屋を設けたり、陶 磁器などの外容器に入れて埋納されていることが多い。 藤原道長が奈良県の金峰山に造成したものが最古の例とされ、その後は全国各地で造成されるようになり、鎌倉・室町時代を経て江戸時代まで造成が行われた。

山の高いところなどの眺望に優れているところに位置する例が多い

- (3) 毘沙門堂遺跡の位置(図1参照)
- (4) 調査成果(図2、3参照)

規模:塚状遺構1 長軸7.5m、短軸5.8m、高さ約50cm。楕円形。

塚状遺構2 長軸5.2m、短軸4.9m、高さ約50cm。円に近い楕円形。

特徴:一部重なっている。中央部が窪んでいる。

時期:12世紀後半~13世紀(奥州藤原氏時代)。

3. 岩手県内の経塚について

(1) 12世紀における岩手県内の分布

県南〜県央を中心に分布。沿岸部、県北部にはほとんど分布していない。 形状は円形のものが多く、規模は直径5〜6m前後、高さが1m未満のものが多い。

(例) 寺の上経塚 (奥州市)、万松寺経塚 (奥州市)。

(2) 金鶏山経塚

位 置:平泉駅から北西に0.9km、標高98.6m。

規 模:直径約14m、高さ約1.3m 山頂に位置。

出土遺物:銅製経筒、国産陶器、土製皿、刀身残片、経巻残欠、平瓦など。

(3) 土踏まずの丘経塚

位 置:天台寺から南西に約600m、標高約250m。

規 模:長軸80m、短軸50m、高さ12~16m 4つの段が形成。

頂 部:長軸10m、短軸7m。

出土遺物:国産陶器の壺3点、刀子1点。

4. ま と め

調査の成果: 2基の遺構の形状を詳細に記録することができた。

- → 一部重なって構築されている。
- → 県内で確認されている経塚の規模や形状と類似。

今後の課題:経塚の具体的な様相(時期や性格など)の把握。

来年度は「櫛目波状双耳壺」の調査を行う。

文化財は地域のみなさんの宝である。文化財を保存・活用するために、まず地域の文化財を知ってもらいたい。今回発表した西方寺毘沙門堂は一戸町役場からも近いので、ぜひいってみて欲しい。町民のみなさんの関心を持ってもらえるよう今後もこのような調査成果をお伝えしていく。

参考文献

赤塚治持稿・板橋源補1959「天台寺「土踏まずの丘」発掘記」『岩手史学研究』No31 岩手史学研究会 石田茂作1977『新版仏教考古学』第6巻 経典・経塚 雄山閣出版株式会社

- 一戸町教育委員会1984『一戸町の絵馬(西方寺毘沙門堂と小滝稲荷神社)』一戸町文化財調査報告書第9集
- 一戸町教育委員会1986『一戸町の仏像』一戸町文化財調査報告書第16集
- 一戸町教育委員会2001年『県指定有形文化財西法寺毘沙門堂保存修理報告書』

岩手県立博物館2000『岩手県立博物館第50回企画展図録「岩手の経塚」』

岩手県立博物館2016『前平泉文化関連遺跡調査報告書 越戸内経塚発掘調査 弥勒地経塚測量調査 比爪館跡 測量調査 その他関連調査研究』岩手県立博物館研究報告書第33冊

小岩末治1962「経塚と日形宝寿院」『岩手県史』第四巻 近世篇 1 岩手県

净法寺町教育委員会1987『天台寺跡昭和61年度発掘調査概報』

羽柴直人2016「紫波郡以北の様相」『考古資料に見る「平泉」とその周辺』岩手考古学会第48回研究大会 岩手考古学会

花園一実2011「末法思想の日本的展開」『現代と親鸞』第22号 親鸞仏教センター

平泉町史編纂委員会編1988『平泉町史』第3巻 総説・論説編 平泉町

三浦謙一・菅原計二・相原康二「北海道・東北地方出土古代末・中世初期陶磁器集成」『都市・平泉―成立とその構成―』日本考古学協会2001年度盛岡大会研究発表資料集 日本考古学協会2001年度盛岡大会実行委員会

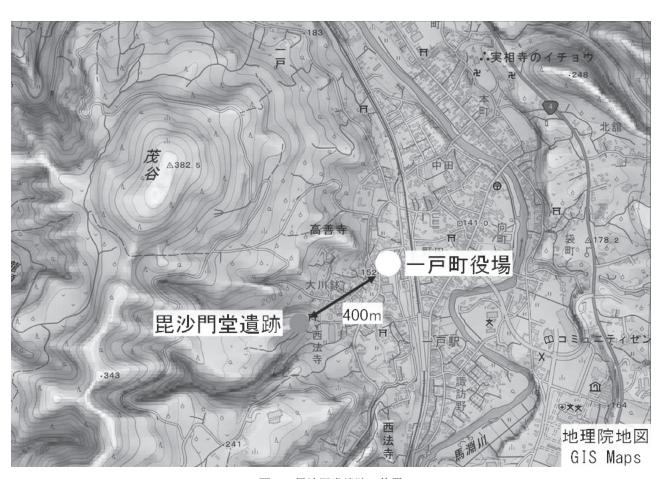


図1 毘沙門堂遺跡の位置

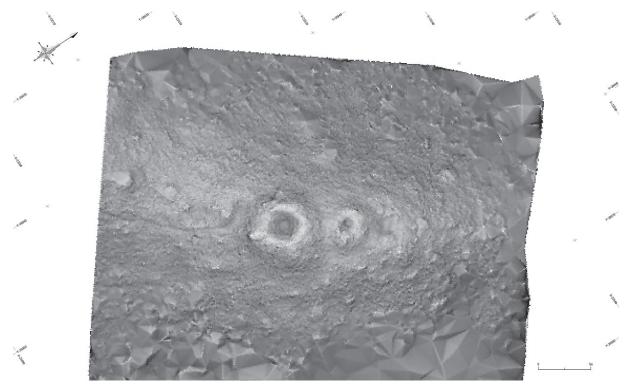


図2 赤色立体地図(全体図)

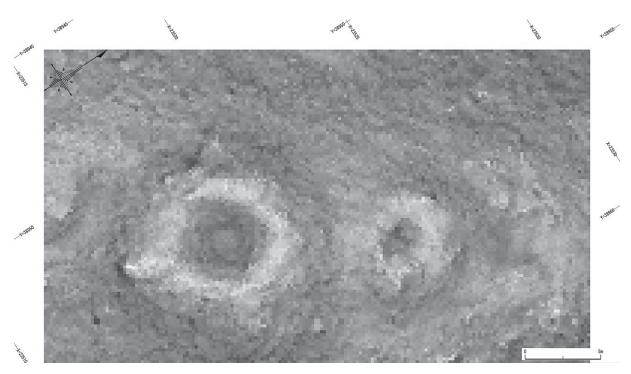


図3 赤色立体地図(拡大詳細図)

はじめに



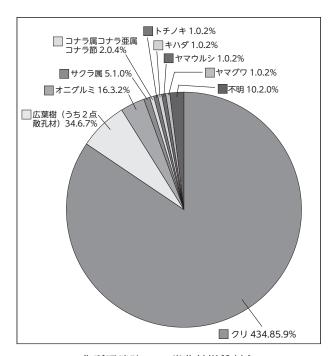
御所野遺跡からは19棟の焼失した竪穴建物跡が見つかっており、詳細に分析すると屋根の上に土が載っていることがわかった。このことにより、御所野遺跡の復元竪穴建物は土屋根となっている。しかし、土屋根の発見だけでなく焼失竪穴建物跡からは炭化した材木も良好に残っており、これを分析することで樹種が特定できる。

御所野遺跡以外にも7世紀から10世紀にいたる 年代の一戸盆地の遺跡から同じく焼失した建物が 数多く見つかっており、こちらも樹種の特定が進

められている。今回、御所野遺跡の焼失建物から見つかった炭化材とそれ以後、7世紀から10世紀の古代の焼失建物から見つかった炭化材、そして一戸城跡から見つかった中世の建物の炭化材の樹種を集計、グラフ化し比較を行った。

縄文時代の炭化材

縄文時代、特に御所野遺跡において、焼失竪穴建物跡から出土する炭化材の7割から9割近くをクリが 占めており、クリは重要な建築材であったと考えられる。クリはタンニンを多く含み腐りにくく、丈夫で あるといった特性が、建築材としてクリを多用する要因となったものと考えられる。

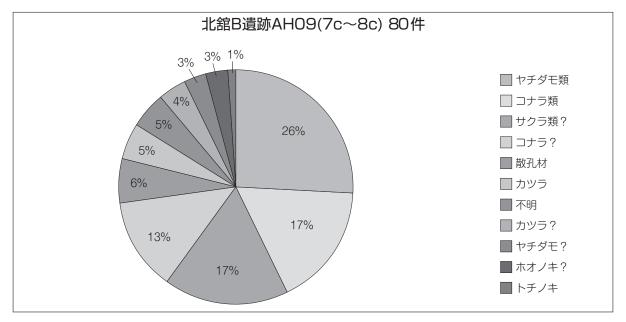


御所野遺跡DF22炭化材樹種割合

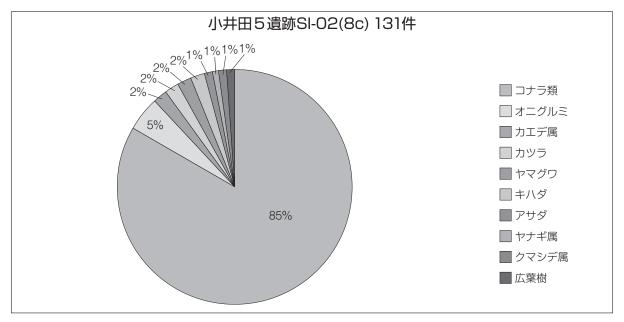


クリ

7世紀頃~9世紀前半の炭化材



しかし、7世紀頃以降の状況を見るとクリ以外の樹種が使用されるようになる。湿地帯に分布するヤチダモ(トネリコ属)や丘陵の里山に分布するコナラ類が多くを占めるようになる。



さらに8世紀に入るとコナラ類の使用が圧倒的に多くなる。田中4遺跡、上野D遺跡、小井田5遺跡ではコナラ類の使用率はそれぞれ96%、92%、85%と跳ね上がる。この傾向は9世紀前半の遺構まで見られる。

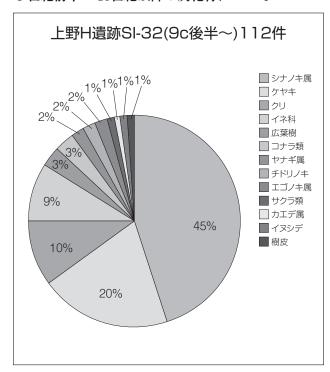


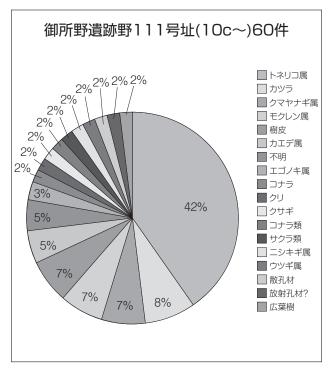
ヤモダチ



コナラ

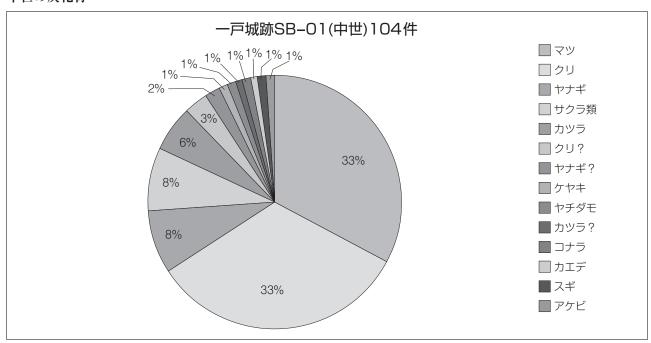
9世紀前半~10世紀以降の炭化材について





9世紀前半以降になると様々な樹種が用いられるようになり、上野H遺跡のSI32建物(9世紀後半~)では半分近くをシナノキ、御所野遺跡の111号址(10世紀~)では半分以上をトネリコ属が占めるようになる。

中世の炭化材



中世になるとクリの使用が再び目立つようになる。さらに加えてマツ、ヤナギを使用するようになる。

終わりにかえて

竪穴建物ごとに炭化材の樹種を集計していくと、縄文時代のクリ、7世紀から8世紀にかけてのヤチダモやコナラ、8世紀以降のコナラの使用の隆盛を経て、9世紀後半から10世紀以降の様々な樹種の利用と、時代ごとにそれぞれ特徴が見えてきた。

今後、これら炭化材の出土状況を改めて詳細に分析し、どのように使用されていたかを検討していきたい。また、今回の集計を通して北舘B遺跡のAH09竪穴、BD03竪穴、御所野遺跡の111号址で多く出土しているトネリコ属(ヤチダモ)にも注目した。湿地帯に生えているヤチダモがこれほどまでに使われてきたのはなぜなのか、検討を重ねて、その背景も探っていきたい。

参考文献

- 一戸町教育委員会1981『一戸バイパス埋蔵文化財調査報告書I』一戸町文化財調査報告書第1集
- 一戸町教育委員会1982『一戸バイパス埋蔵文化財調査報告書Ⅱ』一戸町文化財調査報告書第2集
- 一戸町教育委員会1985『上野遺跡一昭和59年度発掘調査報告書一』一戸町文化財調査報告書第13集
- 一戸町教育委員会1999『小井田V遺跡』一戸町文化財調査報告書第40集
- 一戸町教育委員会2003『田中遺跡』一戸町文化財調査報告書第46集
- 一戸町教育委員会2015『御所野遺跡 V ―総括報告書―』一戸町文化財調査報告書第70集 御所野縄文博物館編2021『縄文里山づくり』新泉社

平塚明2021「御所野遺跡周辺の植生調査―火行のミズバショウ群落―」『平成31年度/令和元年度一戸町 文化財年報』一戸町教育委員会

御所野縄文博物館 鈴木 雪野 中市 日女子 峠 友香

御所野縄文博物館では現在、館の東側に広がる「縄文の森」において、縄文里山づくりを進めている。 令和4年度は一戸町地域おこし協力隊の本江創氏の主催で御所野里山観察会が開催され、博物館職員も共 に里山づくりを行った。

一戸町内外から集まっていただいた参加者の皆さんと共に、5月から11月は縄文の森と付近の町有林を交互に歩いて観察や調査を行い、縄文人がそれらの植物をどのように利用していたのかを考えた。夏から秋にかけて植物が変化していく様子を観察し、また今後も継続して観察できるよう、木に名札を取り付けた。

8月からは観察だけでなく、草刈りと伐採を体験していただいた。鉈の使い方と注意すべき点を教えていただき、安全第一で作業を行う。主にフジの蔓やニセアカシアの木を伐採。特にフジは他の木に巻き付いて衰弱させながら成長するため、巻き付かれた木を保護するためにも伐採した。

12月から翌年3月は博物館内にて、里山について学ぶ場が設けられた。身近な木で作った様々な道具を拝見し、かつての里山利用について教えていただいた。









里山観察会においては、主導していただいた本江氏をはじめ、ご自身でも自然教室を開催している「森の達人」外久保蔦雄氏、「御所野遺跡を支える会」会員の欠端ナミ氏、一戸町農林課・地域林政アドバイザーの中村康之氏より、非常に多くのことを教えていただいた。心よりお礼申し上げる。

里山づくりを通じて学んだ縄文時代から続く知恵を、数十年、数百年先へとつなげていき、自然と共に生きる術をこれからも探っていく。

2. 一戸町内の指定文化財等一覧

【国指定文化財】 (令和4年4月1日)

No.	種別	名	称	数量	所在地等	指定年月日	内容
1	重	蒔 前 遺 跡	出土品	253	御所野縄文博物館	Н 6 . 6 . 28	縄文時代晩期の遺物
2	文	旧朴舘	家住宅	1	小鳥谷字朴舘	H 23 . 11 . 29	県下最大級の古民家
3	史	御 所 野	遺跡	1	岩舘字御所野	H 5 . 12 . 21	縄文時代の集落跡
4	跡	奥州	街 道	1	一戸字大道沢ほか	H 22 . 2 . 22	近世の主要な街道
5	名勝	男神岩・鳥	女神岩 山	1	二戸市石切所 一戸町鳥越 地内	Н 18.7.28	馬淵川沿岸の景勝地
6	特別天物	根反の大	珪化木	1	根反字川向	(天) S 11 . 12 . 16 (特天) S 27 . 3 . 29	根を張ったまま直立している日 本最大の珪化木
7	天	藤島の	フ ジ	1	小鳥谷字仁昌寺	S 13 . 12 . 14	樹齢数百年の巨木
8	然	実相寺の	イチョウ	1	一戸字大沢	S 13 . 12 . 14	雄株の枝に実のなる特異なイ チョウ
9	記	姉帯・小鳥の 珪 化		1	姉帯・小鳥谷・根 反地内	S 16 . 2 . 21	広い範囲に分布する保存良好な 珪化木地帯
10	念	浪打峠の	交叉層	1	一戸字大越田 一戸字大道沢	S 16 . 8 . 1	浅海時に形成された交叉層
11	物	平糠のイ自然		1	平糠	S 23 . 9 . 21	イヌブナの北限自然林

【国登録文化財】

1	建造物	萬	代	舘	1	一戸字本町	H28.8.1	映画ブーム時代の県内唯一残る 現役映画専用館
---	-----	---	---	---	---	-------	---------	---------------------------

【県指定文化財】

No.	種別	名	称	数量	所在地等	指定年月日	内 容
1	有	宮田宝	篋 印 塔	1	月舘字大畑	S 58 . 8 . 5	紀年銘ある県内唯一の宝篋印塔
2	形文化	西方寺毘	見沙門堂	1	西法寺字西法寺	Н 3 . 3 . 29	近世初期の寺
3	財	雀紋印	の馬印	1	御所野縄文博物館	Н7.9.1	一戸牧産馬の焼印
4	有文形化	巡 礼 息 越	納 札 観 音)	1	御所野縄文博物館	S 54 . 8 . 17	糠部33ヶ所巡礼の納札
5	民財俗	二戸地漆蝋関	と 方 の係 資料	94	御所野縄文博物館	Н 18.9.26	漆蝋づくり関連資料
6	無文 形民	根反鹿	恵 踊 り	1	根反地区	Н8.9.3	県北地方を代表する鹿踊り
7	民化俗財	一戸の山	」伏 神 楽	2	高屋敷神楽 中山神楽	H 24 . 11 . 13	県北地方を代表する神楽
8	史跡	小繋-	- 里塚	1	小繋字小繋	H 2 . 8 . 28	奥州街道一里塚

【町指定文化財】

_	【門指定又化則】								
No.	種別	名称	数量	所在地等	指定年月日	内 容			
1		阿弥陀如来座像	1	西法寺字西法寺	S 51 . 9 . 25	西方寺毘沙門堂にある室町時代 の仏像			
2		毘沙門天立像	1	西法寺字西法寺	S 51 . 9 . 25	西方寺毘沙門堂にある室町時代 の仏像			
3		地蔵菩薩立像	1	西法寺字西法寺	S 51 . 9 . 25	西方寺毘沙門堂にある室町時代 の仏像			
4		木造阿弥陀三尊立像	3	月舘字金葛	S 59 . 12 . 25	紀年銘をもつ県北地方最古 の 仏像			
5		姉帯馬場宝篋印塔	2	姉帯字馬場	S 38 . 6 . 8	中世の貴重な石碑			
6		悪戸平宝篋印塔	1	鳥越字悪戸平 (共同墓地内)	S 38 . 6 . 8	中世の貴重な石碑			
7		小井田宝篋印塔	2	一戸字小井田	S 38 . 6 . 8	中世の貴重な石碑			
8	有	大観森宝篋印塔	2	一戸字小井田	S 38 . 6 . 8	中世の貴重な石碑			
9		実相寺宝篋印塔	1	一戸字大沢	S 38 . 6 . 8	中世の貴重な石碑			
10	形	広全寺宝篋印塔	1	一戸字大沢	S 38 . 6 . 8	中世の貴重な石碑			
11		出ル町宝篋印塔	1	出ル町字楢木	S 38 . 6 . 8	中世の貴重な石碑			
12	文	薬師堂宝篋印塔	1	月舘字薬師堂	S 53 . 10 . 30	中世の貴重な石碑			
13		小姓堂宝篋印塔	1	小鳥谷字小姓堂	S 53 . 10 . 30	中世の貴重な石碑			
14	414	上里宝篋印塔	1	姉帯字上里	S 53 . 10 . 30	中世の貴重な石碑			
15	化	椛ノ木宝篋印塔	1	小友字椛ノ木	S 53 . 10 . 30	中世の貴重な石碑			
16		半在家五輪塔	1	小友字半在家	S 53 . 10 . 30	町内で唯一の五輪塔			
17	財	青龍刀形石器	1	御所野縄文博物館	S 52 . 8 . 24	縄文時代の数少ない石器			
18		櫛目波状文双耳壺	1	御所野縄文博物館	S 61 . 12 . 25	平安末から鎌倉初期の経壺			
19		青 磁 香 炉	1	御所野縄文博物館	S 61 . 1 . 26	西方寺毘沙門堂の所蔵品			
20		小枝八幡宮板碑	1	一戸字小井田	Н7.10.2	中世の供養塔			
21		関屋大日堂板碑	2	西法寺字関屋	Н7.10.2	中世の供養塔			
22		帰住証文替証文	1	御所野縄文博物館	H 2 . 3 . 26	九戸城落城後周辺住民へ帰住を 進めた文書の替証文			
23		横 矧 鋲 綴 桶 側 二 枚 胴 具 足	1	一戸字本町	S 60 . 3 . 25	近世初期のよろい			
24		越田八幡宮梵鐘	1	御所野縄文博物館	H 16 . 11 . 26	江戸時代前期の梵鐘			

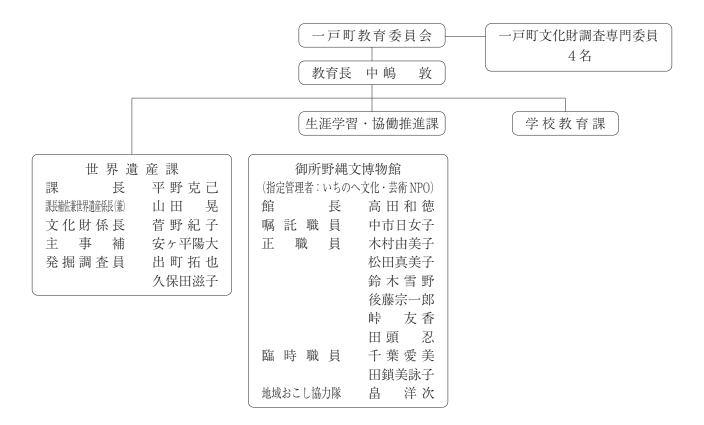
No.	種別	名称	数量	所在地等	指定年月日	内容
25	有	宝永六年銘 青面金剛庚申供養塔	1	一戸字北舘	S 59 . 12 . 25	町内最古の庚申塔
26	形民	嘉永七年盛岡暦	1	御所野縄文博物館	S 61 . 12 . 25	農作業のための絵暦
27	俗文化	西方寺毘沙門堂絵馬	78	西法寺字西法寺 御所野縄文博物館	Н 4 . 3 . 25	近世初期から奉納された絵馬
28	財	浪岡家の型紙	740	一戸字本町	Н 5 . 11 . 1	染物の型紙
29	無	小鳥谷七ツ踊り	1	小鳥谷地区	H 26 . 2 . 24	一戸町を代表する七ツ踊り
30	形民俗	小 友 神 楽	1	小友地区	H 26 . 2 . 24	一戸町を代表する山伏神楽
31	文化	女 鹿 神 楽	1	女鹿地区	R 1 . 7 . 25	一戸町を代表する山伏神楽
32	財	田中新山社神楽	1	岩舘地区	S 26 . 2 . 24	一戸町を代表する山伏神楽
33		火 行 墳 墓	1	中山字西火行	S 53 . 10 . 30	中世の墳墓
34	史	笹 目 子· 上 女 鹿 沢 一 里 塚	2	小 鳥谷 字笹 目子 小鳥谷字上女鹿沢	S 53 . 10 . 30	奥州街道一里塚
35	跡	穴 久 保· 下 女 鹿 沢 一 里 塚	2	小鳥谷字穴久保 小鳥谷字下女鹿沢	S 53 . 10 . 30	奥州街道一里塚
36	12/3	姉 帯 城 跡	1	姉帯字川久保・舘	Н5.5.1	中世城館
37		佐藤家のイグネ林	11	女鹿字上女鹿	S 48 . 2 . 1	樹齢300年以上
38		宮古沢のアズマヒガン桜	1	鳥越字宮古沢	S 48 . 2 . 1	樹齢310年
39	天	出ル町のイチョウ	1	出ル町字出ル町	S 48 . 2 . 1	樹齢800年
40	然	八坂神社のケヤキ	1	高善寺字野田	S 48 . 2 . 1	樹齢400年
41	≑ ⊐	姉帯鬼渕のセンノキ	1	姉帯字鬼渕	S 48 . 2 . 1	樹齢380年
42	記	姉帯上里のカヤ	1	姉帯字上里	S 48 . 2 . 1	樹齢430年
43	念	野尻の大イチイ	2	平糠字野尻	Н2.3.26	樹齢400年
44	物	観音堂の藤	1	小鳥谷字仁昌寺	Н 4 . 3 . 25	樹齢150年
45		鳥越観音の参道樹木	17	鳥越字宮古沢	Н6.5.1	古寺の参道樹木
46		奥中山のクリ	2	奥中山字西田子	H 21 . 11 . 25	樹齢100年以上

3. 一戸町文化財調査報告書一覧

巻 次	報告書名	発行年
第1集	一戸バイパス関係埋蔵文化財調査報告書 I	1981
第2集	一戸バイパス関係埋蔵文化財調査報告書Ⅱ	1982
第3集	一戸町の石造文化財 一その1一 一宝篋印塔と五輪塔一	1982
第4集	一戸バイパス関係埋蔵文化財調査報告書Ⅲ	1983
第5集	一戸バイパス関係埋蔵文化財調査報告書IV	1983
第6集	一戸城跡 一昭和57年度発掘調査概報—	1983
第7集	上野遺跡 一昭和58年度発掘調査報告書一	1984
第8集	一戸城跡 一昭和58年度発掘調査概報—	1984
第9集	一戸町の絵馬 一西方寺毘沙門堂と小滝稲荷社―	1984
第10集	一戸町の石造文化財 一その2 一 一石塔婆・庚申塔・廿三夜塔一	1985
第11集	岩手の歴史と風土 一昭和59年度カルチュア・ユニバーシティ歴史専門講座講義録―	1985
第12集	一戸城跡 一昭和59年度発掘調査概報—	1985
第13集	上野遺跡 一昭和59年度発掘調査報告書一	1985
第14集	いちのへのオシラサマ	1986
第15集	一戸城跡 一昭和60年度発掘調査概報—	1986
第16集	一戸町の仏像	1986
第17集	蒔前 一岩手県蒔前遺跡出土資料の図録―	1986
第18集	上野遺跡·一戸城跡 —昭和61年度一戸遺跡群発掘調査報告書—	1987
第19集	オシラサマ ―オシラサマ・シンポジウム記録―	1987
第20集	上野遺跡 一昭和62年度一戸遺跡群発掘調査報告書一	1988
第21集	鳥越館跡 一昭和63年度一戸遺跡群発掘調査報告書一	1989
第22集	一戸の古文書	1989
第23集	岩手県北地方の漆蠟	1990
第24集	上野遺跡 一平成元年度一戸遺跡群発掘調査報告書一	1990
第25集	一戸町の遺跡(I)(一戸地区・西法寺地区・岩館地区・鳥越地区) 一平成2年度一戸遺跡群詳細分布調査報告書―	1991
第26集	御所野遺跡 一平成2年度御所野遺跡発掘調査概報—	1991
第27集	北舘遺跡 一平成2年度発掘調査報告書一	1991
第28集	一戸町の遺跡(Ⅱ)(中里地区・月舘地区・出ル町地区・小友地区・女鹿地区) 一平成3年度一戸遺跡群詳細分布調査報告書—	1992
第29集	御所野遺跡 —平成3年度御所野遺跡発掘調査概報—	1992
第30集	一戸町の郷土芸能	1992
第31集	いちのへの型紙	1992
第32集	御所野遺跡 I 一縄文時代中期の大集落跡一	1993
第33集	一戸町の遺跡(Ⅲ)(姉帯地区・面岸地区・根反地区) 一平成4年度一戸遺跡群詳細分布調査報告書一	1993
第34集	いちのへの 年中行事	1993
第35集	一戸町の遺跡 (Ⅳ) (小鳥谷地区・平糠地区・小繋地区) 一平成5年度町内遺跡詳細分布調査報告書—	1994
第36集	山井遺跡 ―縄文晩期の包含層―	1995

巻 次	報告書名	発行年
第37集	一戸町の遺跡 (V) (中山西地区・中山東地区・平糠南地区・宇別地区) 一平成6年度町内遺跡詳細分布調査報告書一	1995
第38集	一戸町の遺跡(Ⅵ)(楢山地区・月舘地区・出ル町地区・小友地区・小繋地区)一平成7年度町内遺跡詳細分布調査報告書─	1996
第39集	町内遺跡発掘調査報告書 ——戸城跡·小井田V遺跡—	1998
第40集	小井田V遺跡	1999
第41集	姉帯城跡	1999
第42集	平成11年度町内遺跡発掘調査報告書 ―鳥越館跡・蒔前遺跡―	2000
第43集	上野遺跡	2001
第44集	一戸城跡・川原田平遺跡 一平成12年度町内遺跡発掘調査報告書一	2001
第45集	一戸城跡・蒔前遺跡 一平成13・14年度町内遺跡発掘調査報告書一	2003
第46集	田中遺跡	2003
第47集	いちのへの型紙Ⅱ	2003
第48集	御所野遺跡Ⅱ	2004
第49集	一戸城跡・御所野遺跡・野里遺跡 —平成15年度町内遺跡発掘調査報告書—	2004
第50集	御所野遺跡環境整備事業報告書I	2004
第51集	国指定天然記念物 藤島のフジ樹勢回復事業報告書	2005
第52集	平成16年度町内遺跡発掘調査報告書 一野里遺跡一	2005
第53集	御所野遺跡Ⅲ	2006
第54集	平成16、17年度町内遺跡発掘調査報告書 一御所野遺跡一	2006
第55集	稲荷林遺跡	2006
第56集	大平遺跡	2006
第57集	東Ⅳ遺跡	2007
第58集	野田 I 遺跡 野田宝篋印塔と中世墳墓	2007
第59集	奥州街道調査報告書	2007
第60集	御所野遺跡環境整備事業報告書 Ⅱ	2007
第61集	似平Ⅱ遺跡	2008
第62集	下地切遺跡・蒔前遺跡・野里遺跡・一戸城跡 一町内遺跡発掘調査報告書一	2008
第63集	野田Ⅱ遺跡	2009
第64集	御所野遺跡・馬場平遺跡 ―平成19・20年度町内遺跡発掘調査報告書―	2009
第65集	奥州街道整備事業報告書(第1分冊)・(第2分冊 整備活用計画編)	2009
第66集	平成20·21年度町内遺跡発掘調査報告書 一上野遺跡·下村遺跡·西田子8遺跡·中山家向Ⅱ遺跡一	2010
第67集	朴舘家住宅調査報告書	2011
第68集	御所野遺跡Ⅳ	2013
第69集	一戸の古文書(Ⅱ)	2014
第70集	御所野遺跡 V 一総括報告書一	2015
第71集	御所野遺跡環境整備事業報告書Ⅲ 一総括報告書一	2017
第72集	朴舘遺跡 —平成27·28年度町内遺跡発掘調査報告書—	2017
第73集	小繋Ⅱ遺跡	2018
第74集	馬場平遺跡·蒔前遺跡 —平成28·30年度町内遺跡発掘調査報告書—	2019
第75集	越田橋遺跡	2020

4. 組織と職員体制



令和4年度 一戸町文化財年報

令和5年8月

編集・発行 一戸町教育委員会 〒028-5311 岩手県二戸郡一戸町高善寺字大川鉢24-9 TEL 0195-33-2111